

市民アンケート調査の結果について

(1) 調査の概要

①調査の目的

○都市計画マスタープランの改定にあたり、市民の意見を反映しながら、本市の目指すべき将来の姿や都市づくり・都市計画の基本的な考え方を検討するため、市民アンケート調査を実施しました。

②調査対象及び調査方法

○小牧市東部地域在住の 18 歳以上の方を対象に 1,500 人を無作為に抽出し、調査票を郵送により発送・回収

表- 市民アンケートの概要

項目	内容
調査対象	小牧市東部地域在住の 18 歳以上の方
配布数	1,500 通
調査方法	調査対象者の中から無作為に抽出
調査時期	令和 5 年 9 月 1 日～令和年 9 月 20 日

③配布数及び回収結果

○配布数 1,500 通に対し、802 通を回収

表- 市民アンケートの回収状況

配布数	回収数	回収率
1,500	802	53.5%

④集計方法

○比率はすべて百分率(%)で表し、小数点以下 2 位を四捨五入した数値で表示しているため、合計が 100% を前後する場合があります。また、各設問の結果のコメントについては、小数点以下 1 位を四捨五入した整数値で表記しました。

⑤ 標本誤差

- 本調査では、802 人から回答結果を得ていますが、これがどの程度の精度を持った回答結果であるかを示す指標として「標本誤差」があります。
- 本調査における標本誤差の範囲は、信頼度 95%とした場合、次表のように算出されます。基準値からの比較等には、次表を加味してご覧ください。

表 標本誤差の早見表(信頼度 95%)

回答数	回答比率				
	10%または 90%	20%または 80%	30%または 70%	40%または 60%	50%
802	±2.1%	±2.8	±3.2%	±3.5%	±3.5%

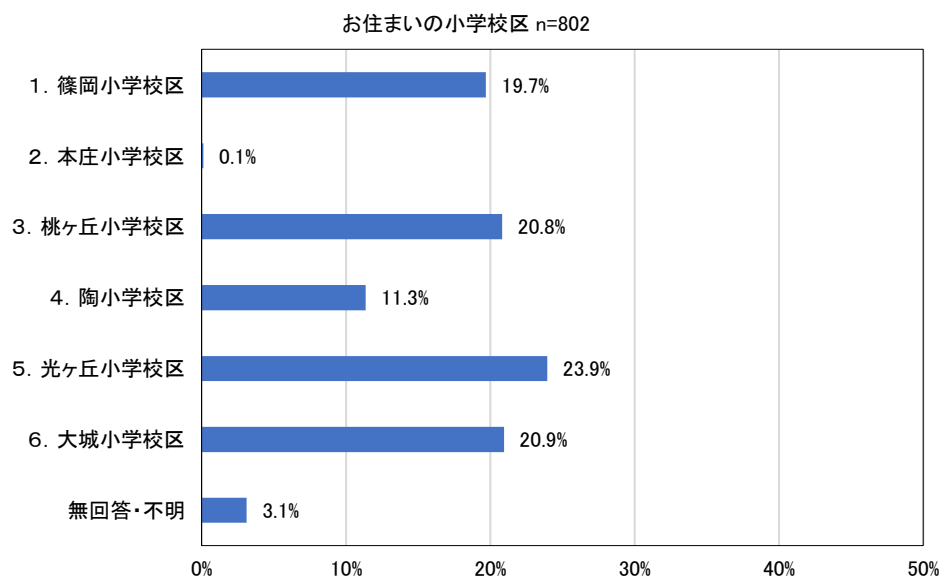
- この表は、例えば「回答比率が 60%であった場合、この回答比率の誤差の範囲は±3.5%以内(56.5%～63.5%)である」とみることができます。

(2) 調査結果

はじめに

<居住の小学校区>

○本庄小学校区を除き、どの地域からも回答が得られている。



①基本属性

<問1 性別・年齢・職業・自動車運転の有無・公共交通（鉄道、バス）の利用頻度>

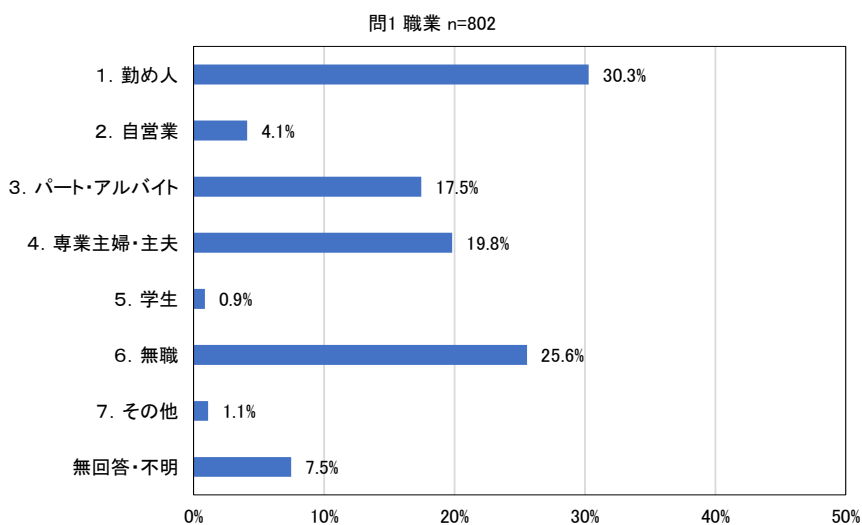
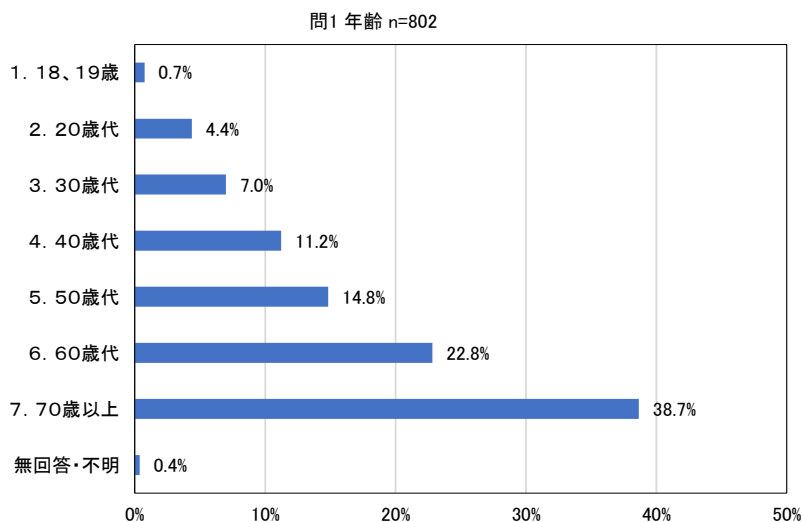
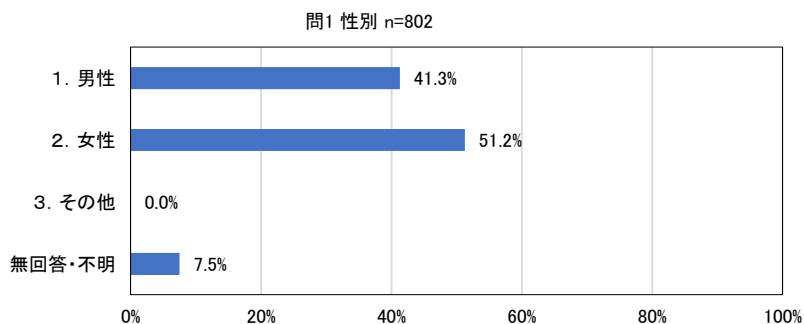
○回答者の性別は「男性」が約41%、「女性」が約51%を占めている。

○年齢では、「70歳以上」が最も多く、約39%を占めている。

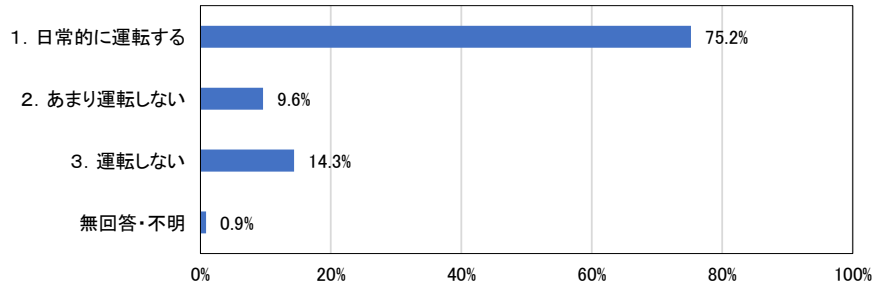
○職業では、「勤め人」が最も多く約30%、次いで、「無職」が約26%を占めている。

○自動車運転の有無については、「日常的に運転する」が約75%を占めている

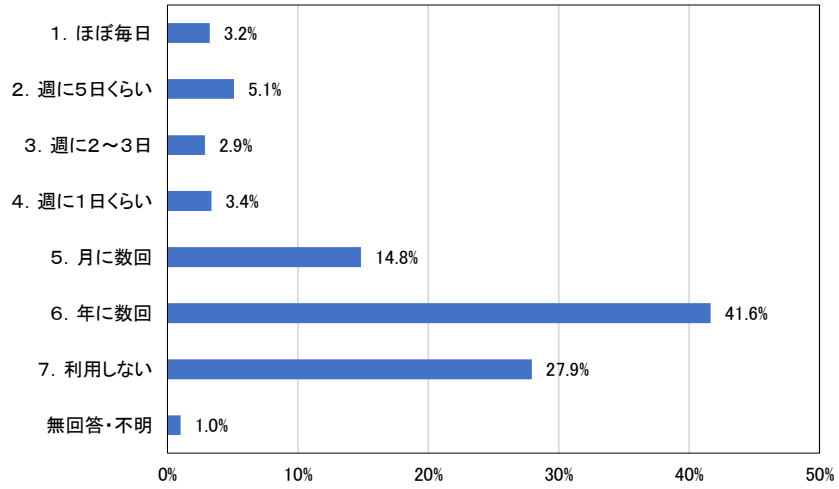
○公共交通の利用頻度は「年に数回」が約42%と最も多く、次いで、「利用しない」が約28%を占めている。



問1 自動車運転有無 n=802

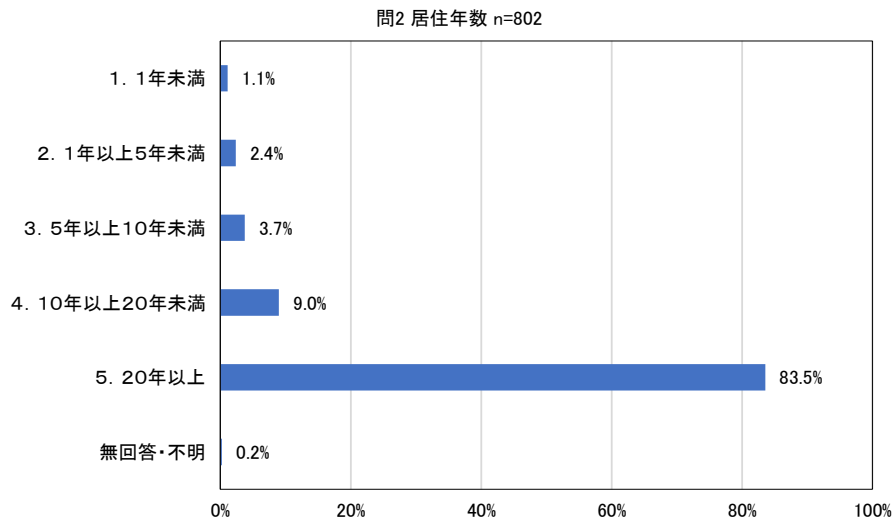


問1 公共交通利用頻度 n=802



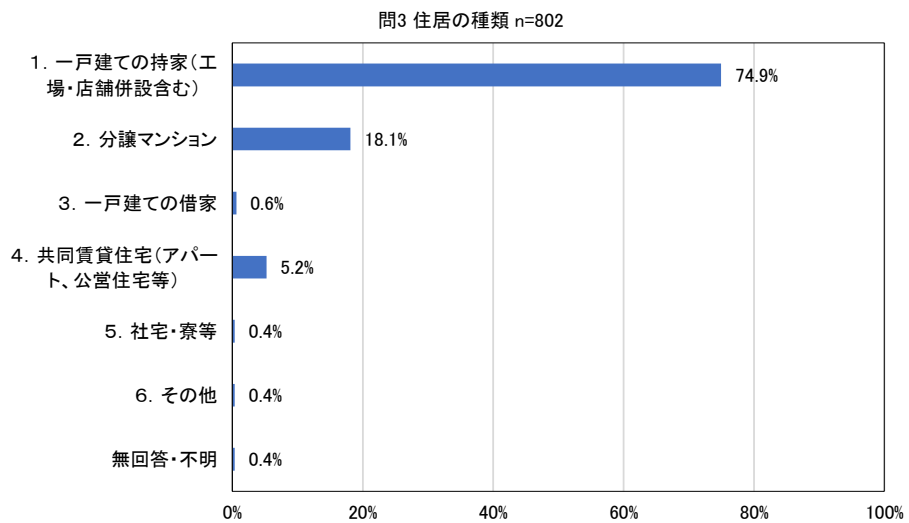
<問2 居住年数>

○居住年数では、「20年以上」が約84%と最も多い。



<問3 住居の種類>

○住居の種類では、「一戸建ての持家」が約75%を占め、次いで分譲マンションが約18%となっている。



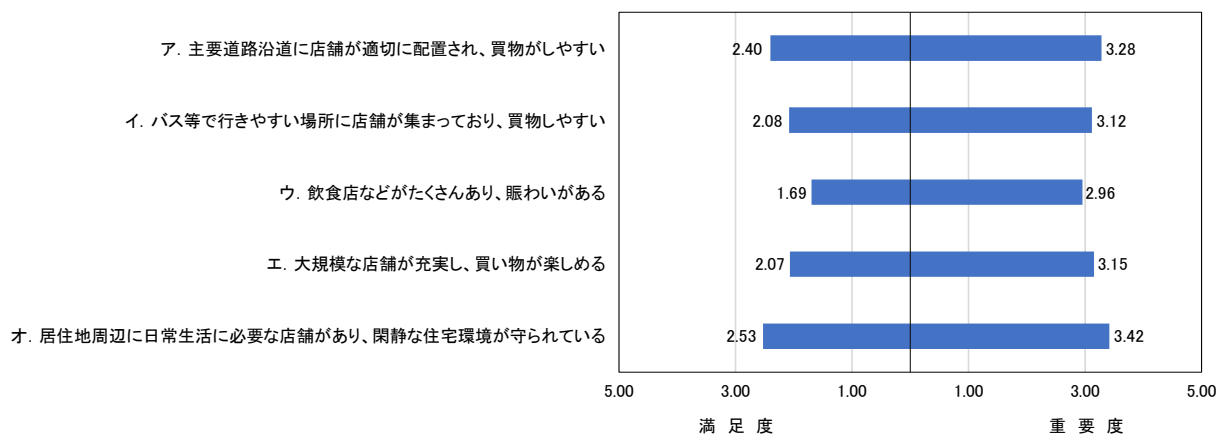
②住んでいる地域の生活環境や将来像について

<問4 満足度・重要度>

○居住地区の満足度は、「居住地周辺に日常生活に必要な店舗があり、閑静な住宅環境が守られている」(平均得点 2.53 点)が最も高く、次いで「主要道路沿道に店舗が適切に配置され、買物がしやすい」が高くなっている。満足度が最も低いのは「飲食店などがたくさんあり、賑わいがある」(1.69 点)である。

○重要度は、「居住地周辺に日常生活に必要な店舗があり、閑静な住宅環境が守られている」(平均得点 3.42 点)が最も高く、次いで「主要道路沿道に店舗が適切に配置され、買物がしやすい」、「大規模な店舗が充実し、買い物を楽しめる」となっている。

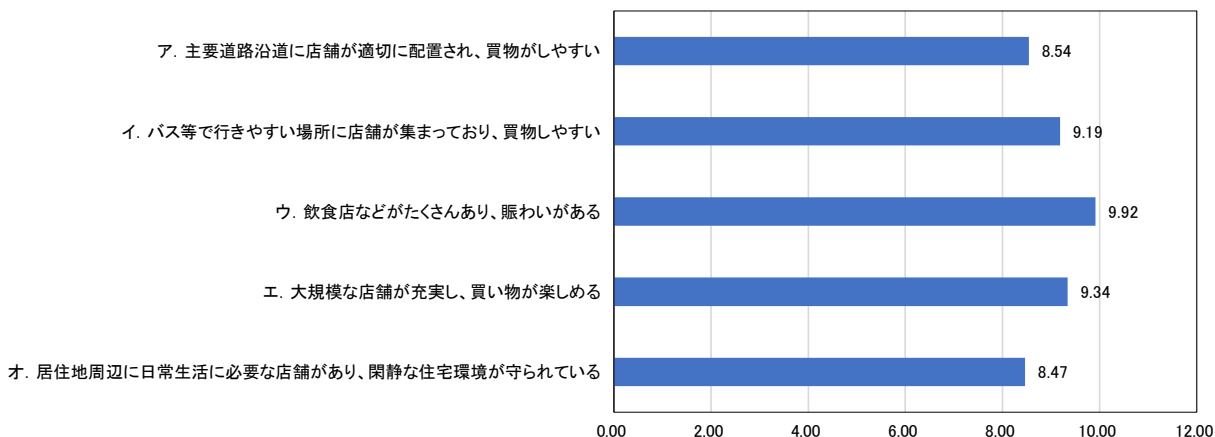
問4 お住まいの地区での買い物状況に対する満足度・重要度 n=802



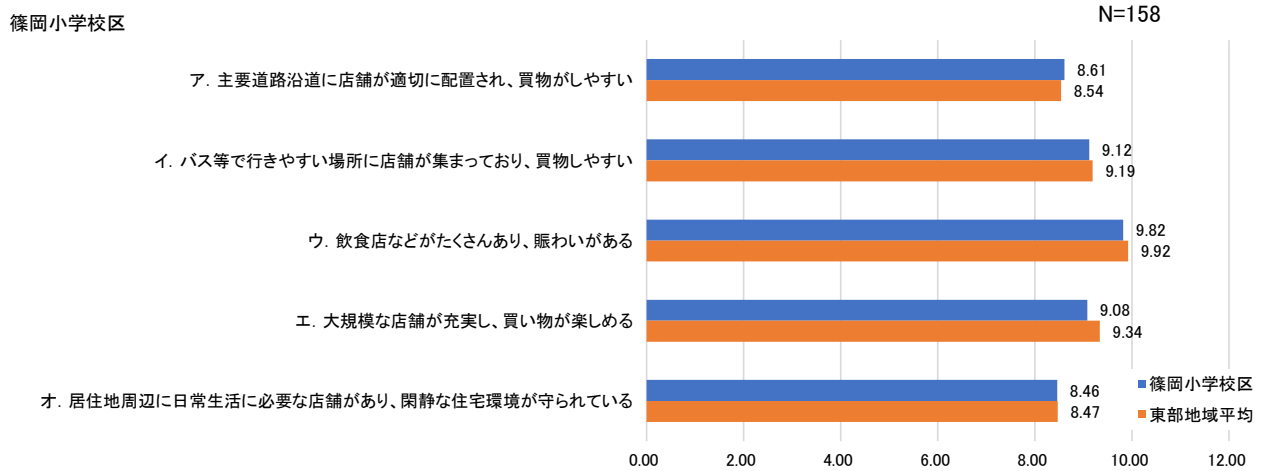
<ニーズ平均得点>

○居住地区の環境や日常生活に対する満足度と重要度から得点をつけた結果、「飲食店などがたくさんあり、賑わいがある」(9.92 点)、「大規模な店舗が充実し、買い物を楽しめる」(9.34 点)、「バス等で行きやすい場所に店舗が集まっており、買物しやすい」(9.19 点)の順に必要性が高い。

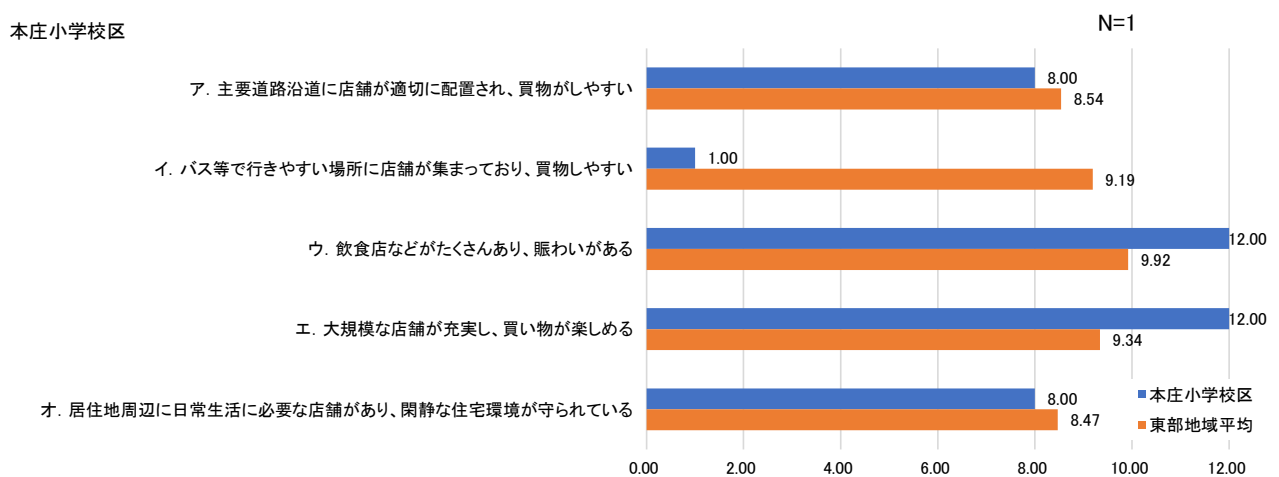
問4 お住まいの地区での買い物状況(ニーズ平均得点) n=802



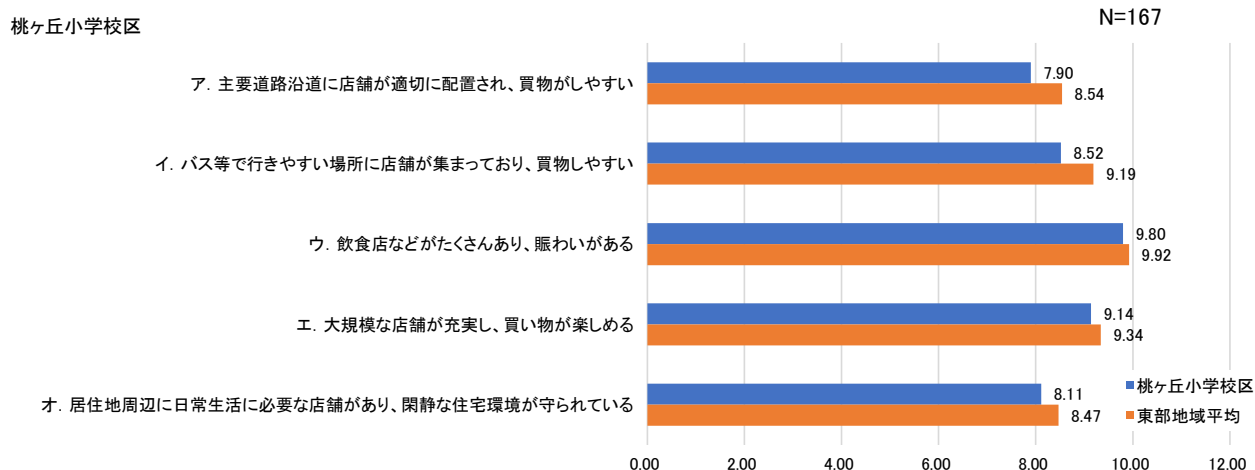
○篠岡小学校区に居住する回答者のニーズ平均得点は、「主要道路沿道に店舗が適切に配置され、買物がしやすい」が市平均と比較して高くなっている。



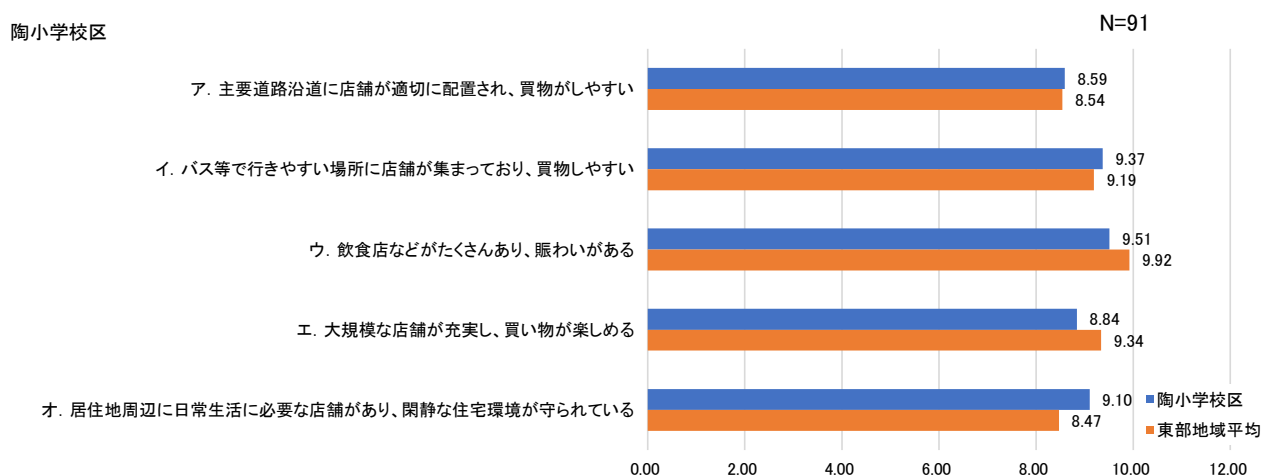
○本庄小学校区に居住する回答者のニーズ平均得点は、「飲食店などがたくさんあり、賑わいがある」、「大規模な店舗が充実し、買い物を楽しめる」が市平均と比較して高くなっている。



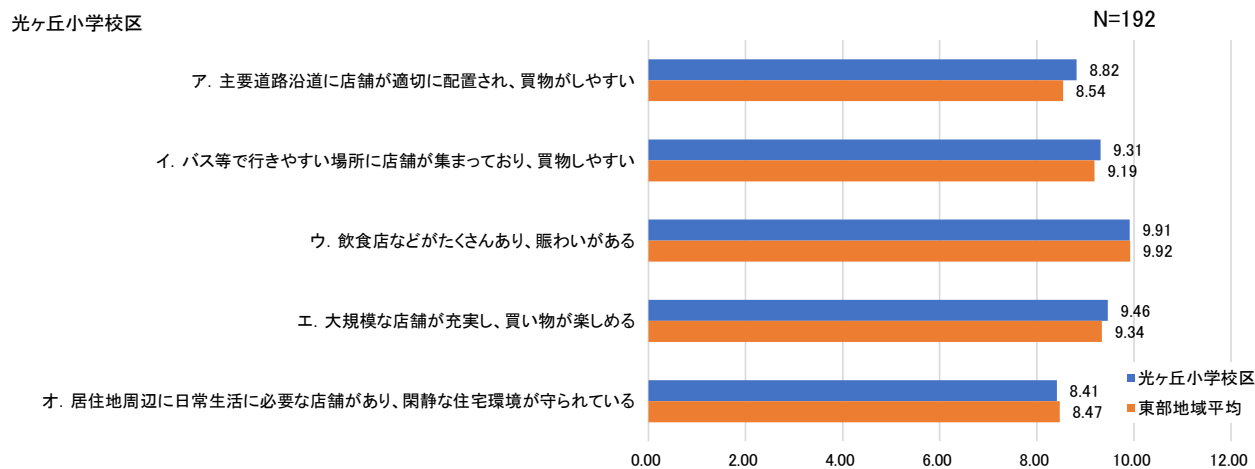
○桃ヶ丘小学校区に居住する回答者のニーズ平均得点は市平均と比較して高い項目はないものの、「飲食店などがたくさんあり、賑わいがある」が最も必要性が高くなっている。



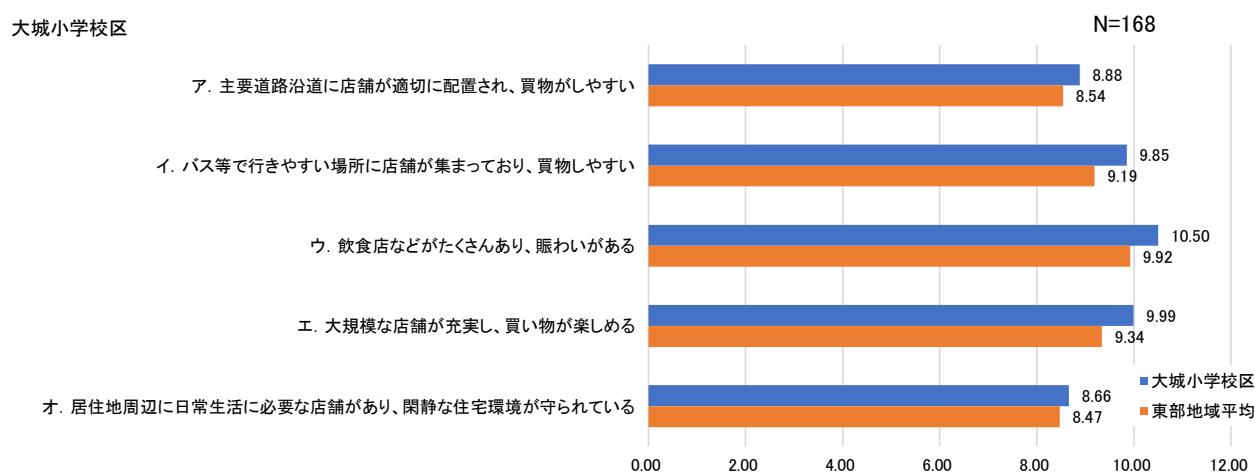
○陶小学校区に居住する回答者のニーズ平均得点は、「主要道路沿道に店舗が適切に配置され、買物がしやすい」、「バス等で行きやすい場所に店舗が集まっており、買物しやすい」、「居住地周辺に日常生活に必要な店舗があり、閑静な住宅環境が守られている」が市平均と比較して高くなっている。



○光ヶ丘小学校区に居住する回答者のニーズ平均得点は、「主要道路沿道に店舗が適切に配置され、買物がしやすい」、「バス等で行きやすい場所に店舗が集まっており、買物しやすい」、「大規模な店舗が充実し、買い物を楽しめる」が市平均と比較して高くなっている。



○大城小学校区に居住する回答者のニーズ平均得点は、「バス等で行きやすい場所に店舗が集まっており、買物しやすい」、「飲食店などがたくさんあり、賑わいがある」、「大規模な店舗が充実し、買い物を楽しめる」が市平均と比較して高くなっている。



平均得点の算出方法

居住地区の環境や日常生活に関する各項目の満足度及び重要度について、下記の方法により4段階の得点を付け、平均得点を算出する。

満足度・重要度平均得点(4点に近いほど満足度・重要度が高く、1点に近いほど低い)

満足度	重要度	得点
満足	重要	4点
まあ満足	まあ重要	3点
やや不満	あまり重要でない	2点
不満	重要でない	1点
不明	不明	未集計

満足度の平均得点

$$= \{ \text{「満足」} \times (4\text{点}) + \text{「まあ満足」} \times (3\text{点}) + \text{「やや不満」} \times (2\text{点}) + \text{「不満」} \times (1\text{点}) \} / \text{回答数}$$

重要度の平均得点

$$= \{ \text{「重要」} \times (4\text{点}) + \text{「まあ重要」} \times (3\text{点}) + \text{「あまり重要でない」} \times (2\text{点}) + \text{「重要でない」} \times (1\text{点}) \} / \text{回答数}$$

1人1項目あたりの得点から全体平均を算出し、これを満足度・重要度の指標とする。平均得点は、4点に近いほど満足度または重要度が高いことを示し、逆に1点に近いほど満足度が低い(不満度が高い)、または重要度が低いことを示している。

ニーズ平均得点の算出方法

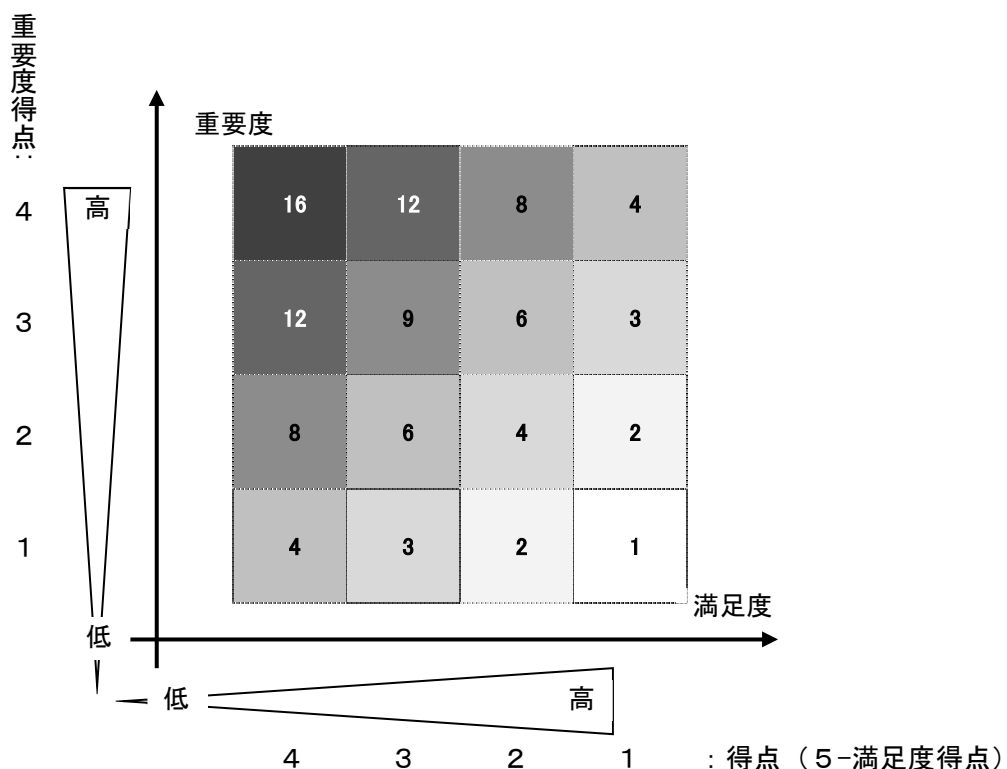
居住地区の環境や日常生活に関する各項目の満足度・重要度を下記の方法によりニーズ得点化し、各項目に対する市民ニーズを相対比較する。

ニーズ得点(最高点16点:「満足度」が低く、かつ「重要度」が高いもの)

$$\boxed{\text{ニーズ得点}} = \boxed{\text{重要度得点}} \times (5 - \boxed{\text{満足度得点}})$$

満足度得点		重要度得点	
満足	(4点)	重要	(4点)
まあ満足	(3点)	まあ重要	(3点)
やや不満	(2点)	あまり重要でない	(2点)
不満	(1点)	重要でない	(1点)
不明	(未集計)	不明	(未集計)

なお、ニーズ得点は下図に示すように「満足度が低く、重要度が高いほど高得点となる」ことから得点の高い項目ほど、その施策実施に対する市民ニーズが相対的に高い(施策の相対的優先性が高い)と考えることができるが、得点自体が市民ニーズの絶対的高さを示すものではない。(色の濃いエリアに入る項目の方が薄いエリアに入る項目に比べ市民ニーズが高い)



1人1項目あたりのニーズ得点から全体平均を算出し、これ(ニーズ平均得点)を市民ニーズの指標とする。

$$\boxed{\text{ニーズ平均得点}} = \boxed{\text{ニーズ得点}} \text{の合計} \div \text{回答数}$$

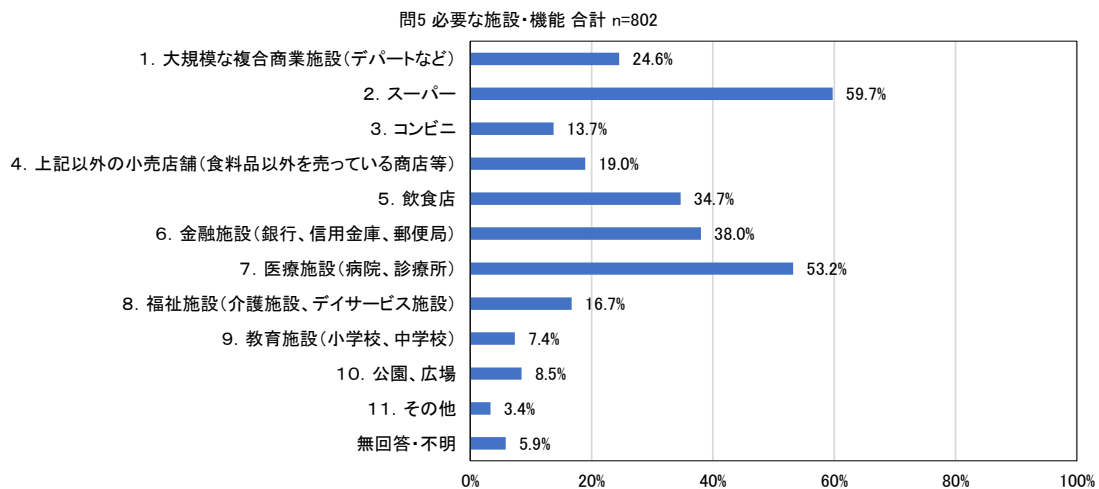
<問5 居住地区内に特に必要だと思う施設や機能>

○居住地区内に特に必要だと思う施設や機能として、全体では「スーパー」が最も回答が多く、次いで「医療施設(病院、診療所)」、「金融施設(銀行、信用金庫、診療所)」となっている。

○第1位は「スーパー」が最も回答が多く、「医療施設(病院、診療所)」、次いで「大規模な複合商業施設(デパートなど)」となっている。

○第2位は「医療施設(病院、診療所)」が最も回答が多く、次いで「飲食店」、「金融施設(銀行、信用金庫、診療所)」となっている。

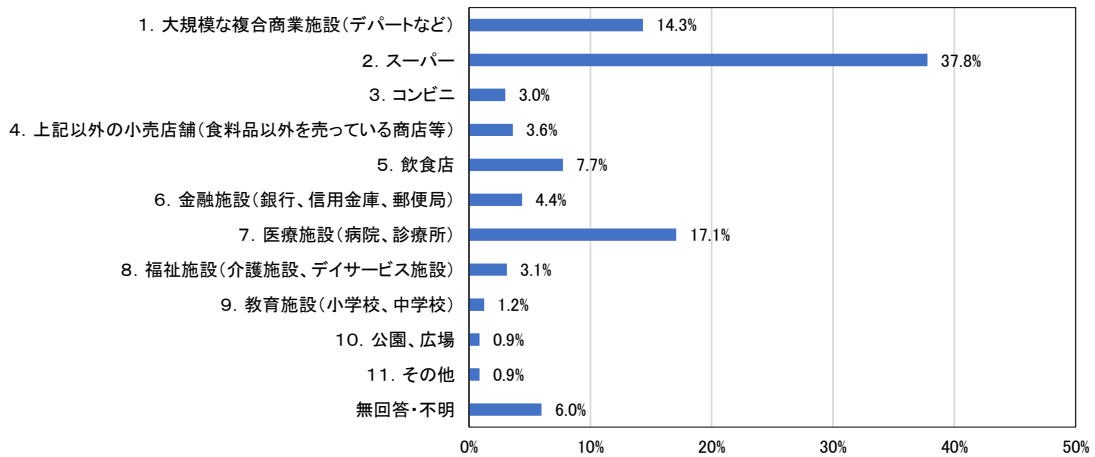
○第3位は「金融施設(銀行、信用金庫、診療所)」が最も回答が多く、次いで「医療施設(病院、診療所)」、「飲食店」となっている。



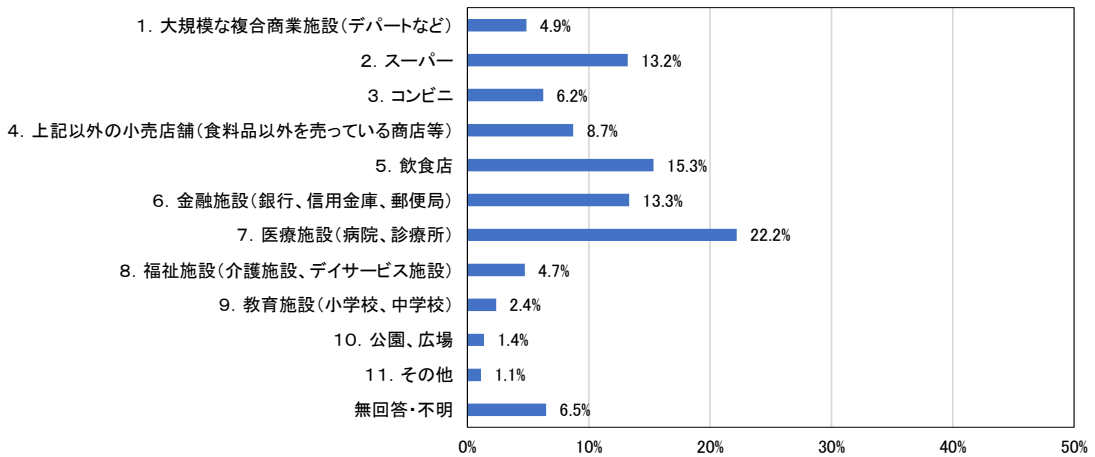
※この設問の回答方式は、回答者が必要だと思う順に選択肢を3つまで選択する方式である

※構成比の母数は全回答者数である

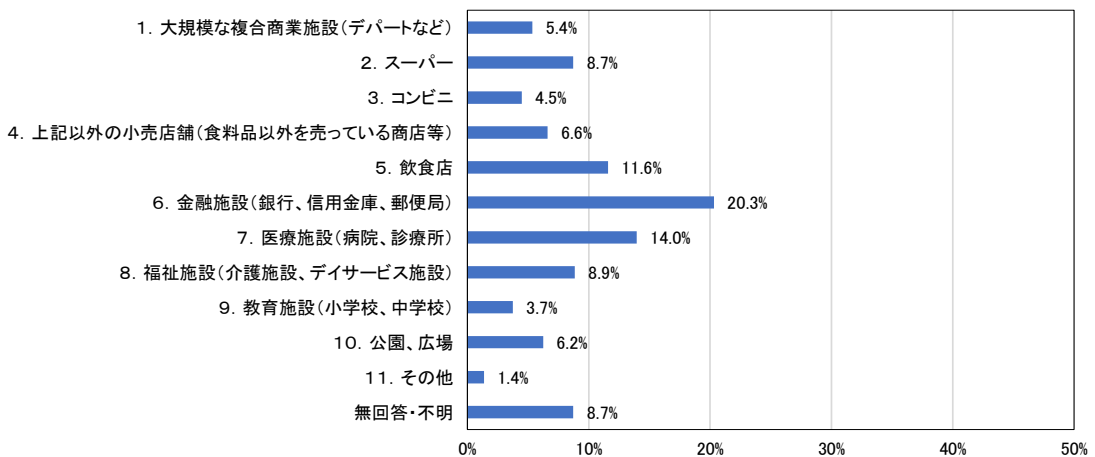
問5 必要な施設・機能 第1位 n=802



問5 必要な施設・機能 第2位 n=802



問5 必要な施設・機能 第3位 n=802



<問6 日用品の買い物状況>

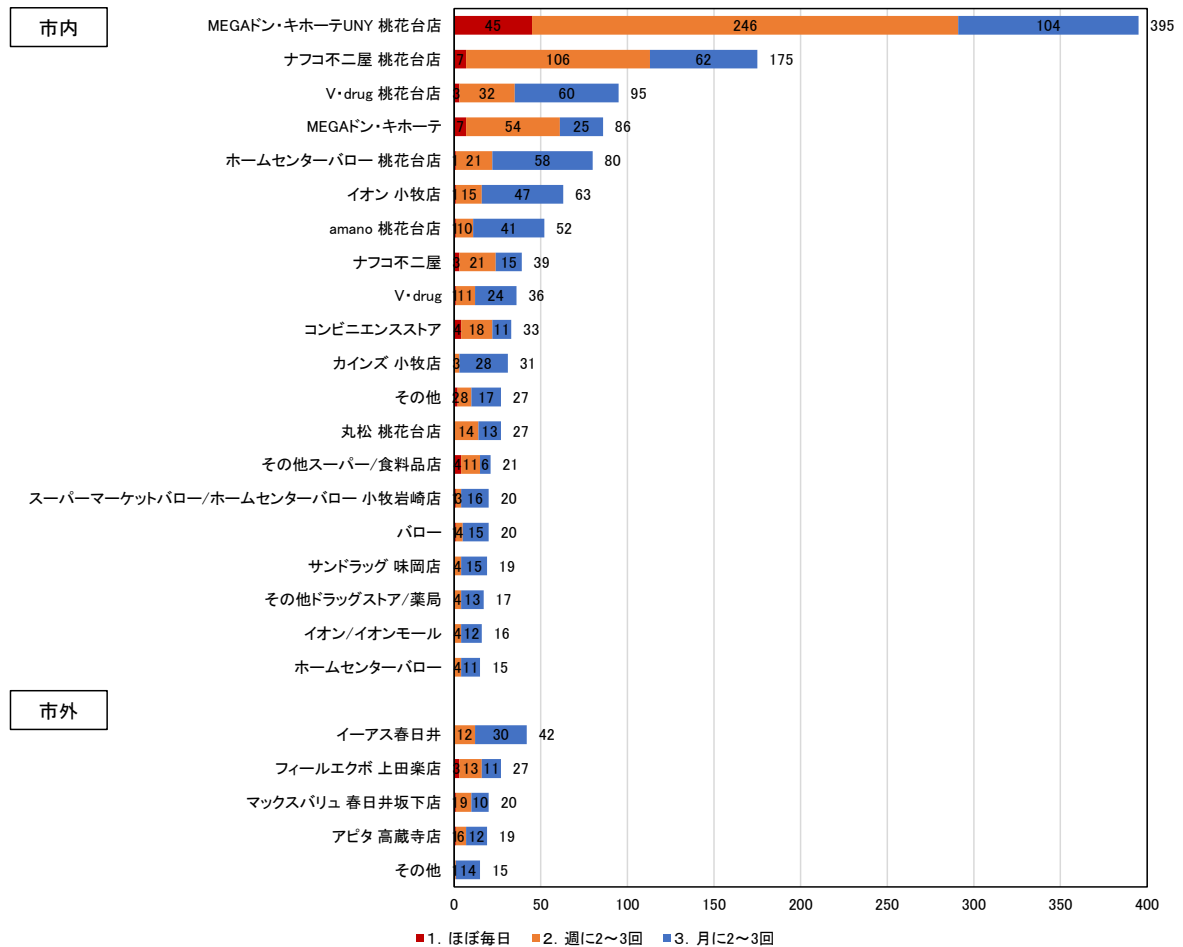
○市内では、「MEGAドン・キホーテUNY 桃花台店」が最も回答が多く、頻度は「週に2～3回」が最も多い。次いで「ナフコ不二屋 桃花台店」、「V・drug 桃花台店」となっている。

○市外では、「イーアス 春日井」が最も回答が多く、頻度は「月に2～3回」が最も多い。次いで「フィールエクボ 上田薬店」、「マックスバリュ 春日井坂下店」となっている。

○移動手段は、市内市外問わずどの施設についても自家用車での移動が半数以上を占めている。

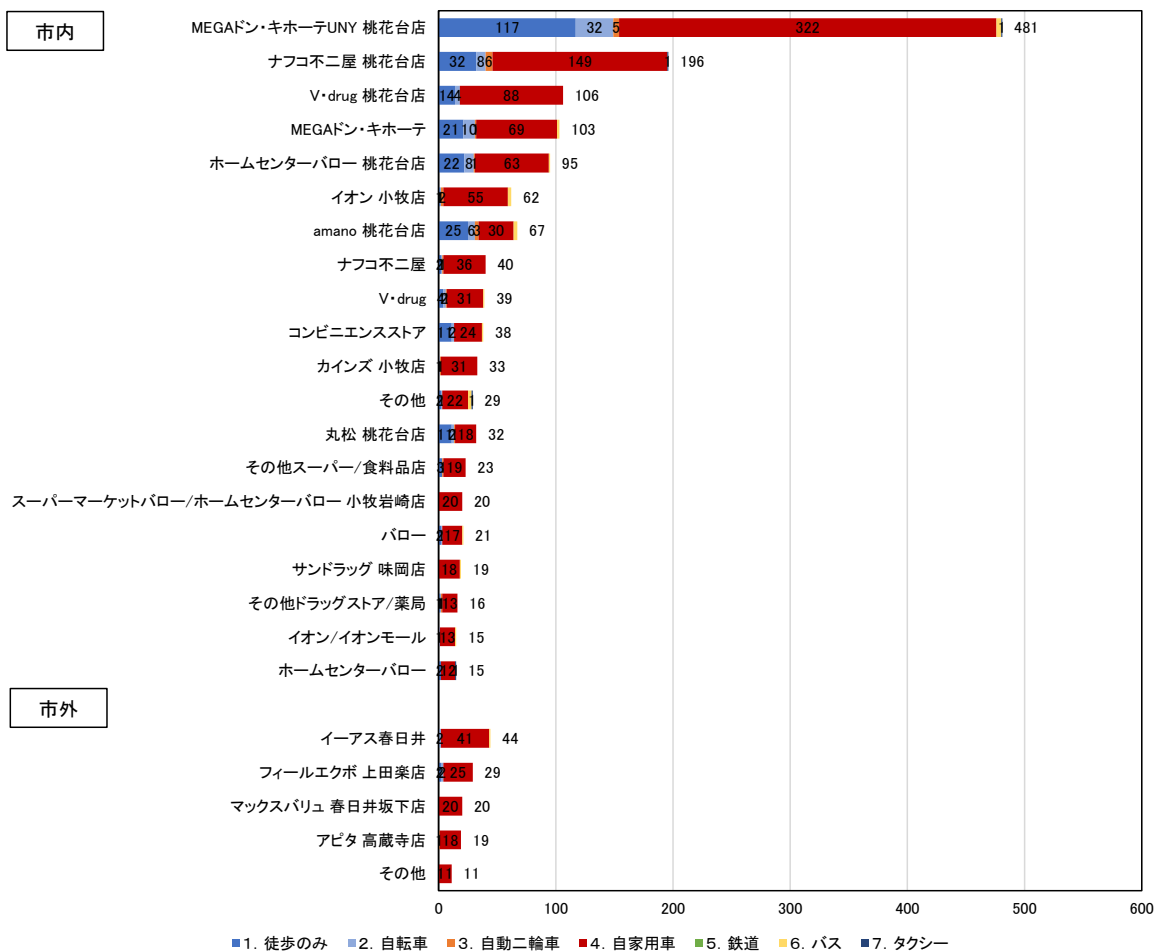
○日用品の買い物に通販を利用している割合は約9%となっている。

問6 日用品の買い物状況について(頻度)複数回答



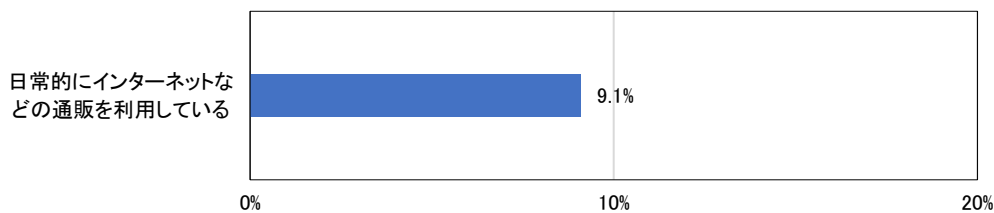
※施設名の回答数をもとに降順で整理

問6 日用品の買い物状況について(移動手段) 複数回答



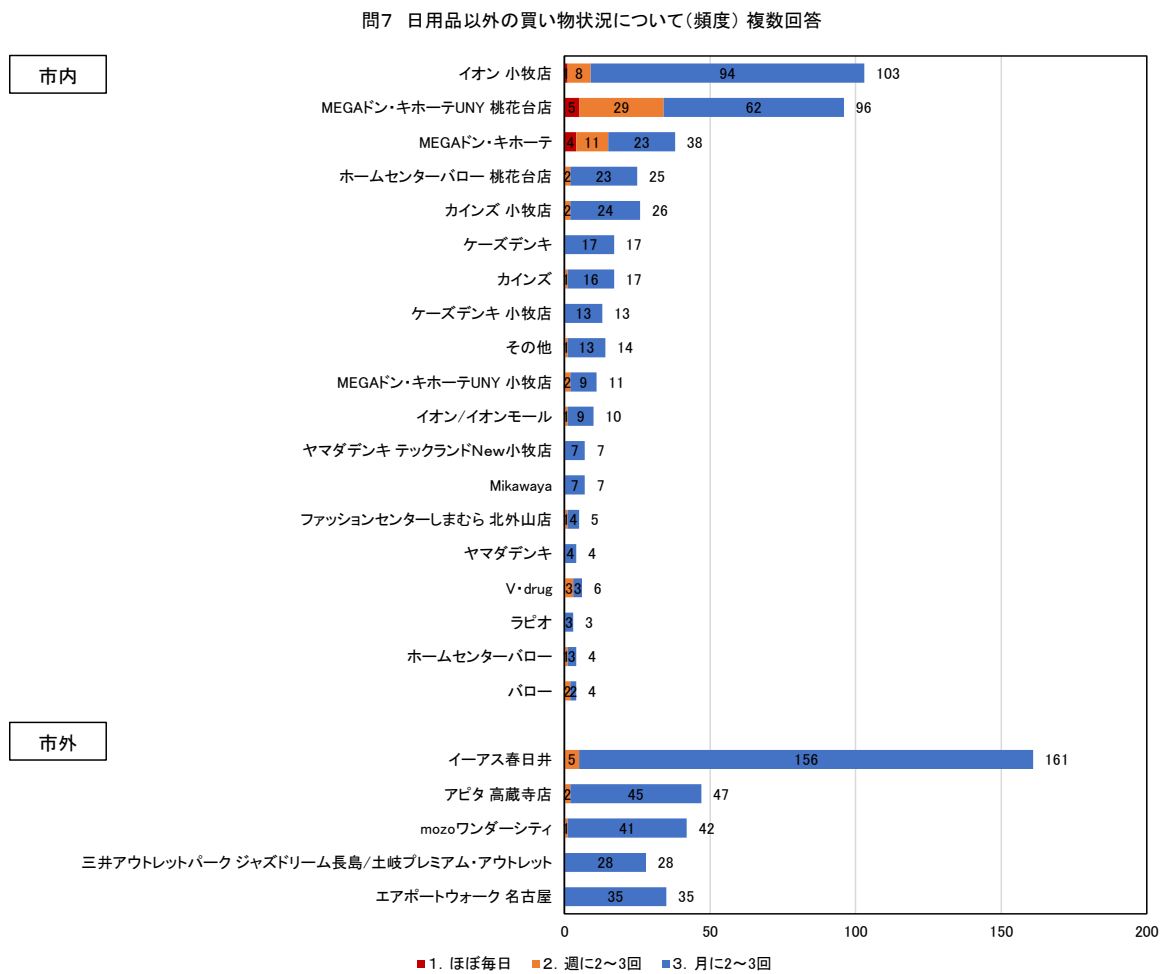
※施設名の回答数をもとに降順で整理

問6 日用品の買い物状況について(通販) n=802



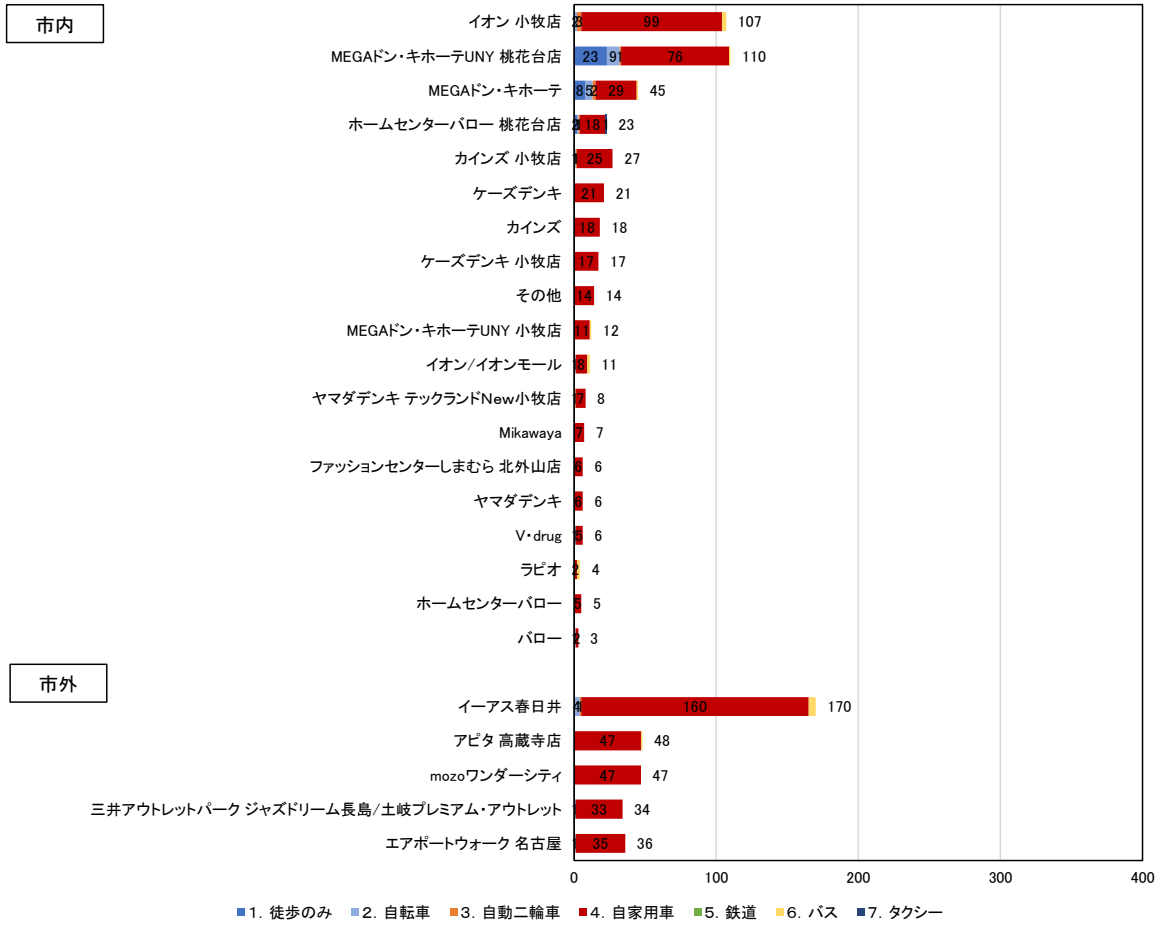
<問7 日用品以外の買い物状況>

- 市内では、「イオン 小牧店」が最も回答が多く次いで「MEGA ドン・キホーテ UNY 桃花台店」、「MEGA ドン・キホーテ」となっている。頻度はどの施設においても「月に2～3回」が最も多い。
- 市外では、「イーアス 春日井」が最も回答が多く、次いで「アピタ 高蔵寺店」、「mozo ワンダーシティ」となっている。頻度はどの施設においても「月に2～3回」が最も多い。
- 移動手段は、市内市外問わずどの施設についても自家用車での移動が半数以上を占めている。
- 日用品の買い物に通販を利用している割合は約18%となっている。



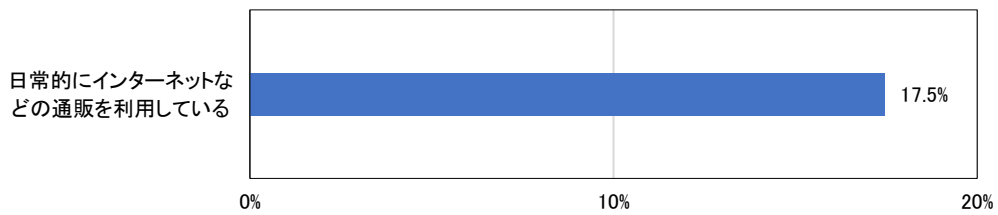
※施設名の回答数をもとに降順で整理

問7 日用品以外の買い物状況について(移動手段) 複数回答



※施設名の回答数をもとに降順で整理

問7 日用品以外の買い物状況について(通販) n=802



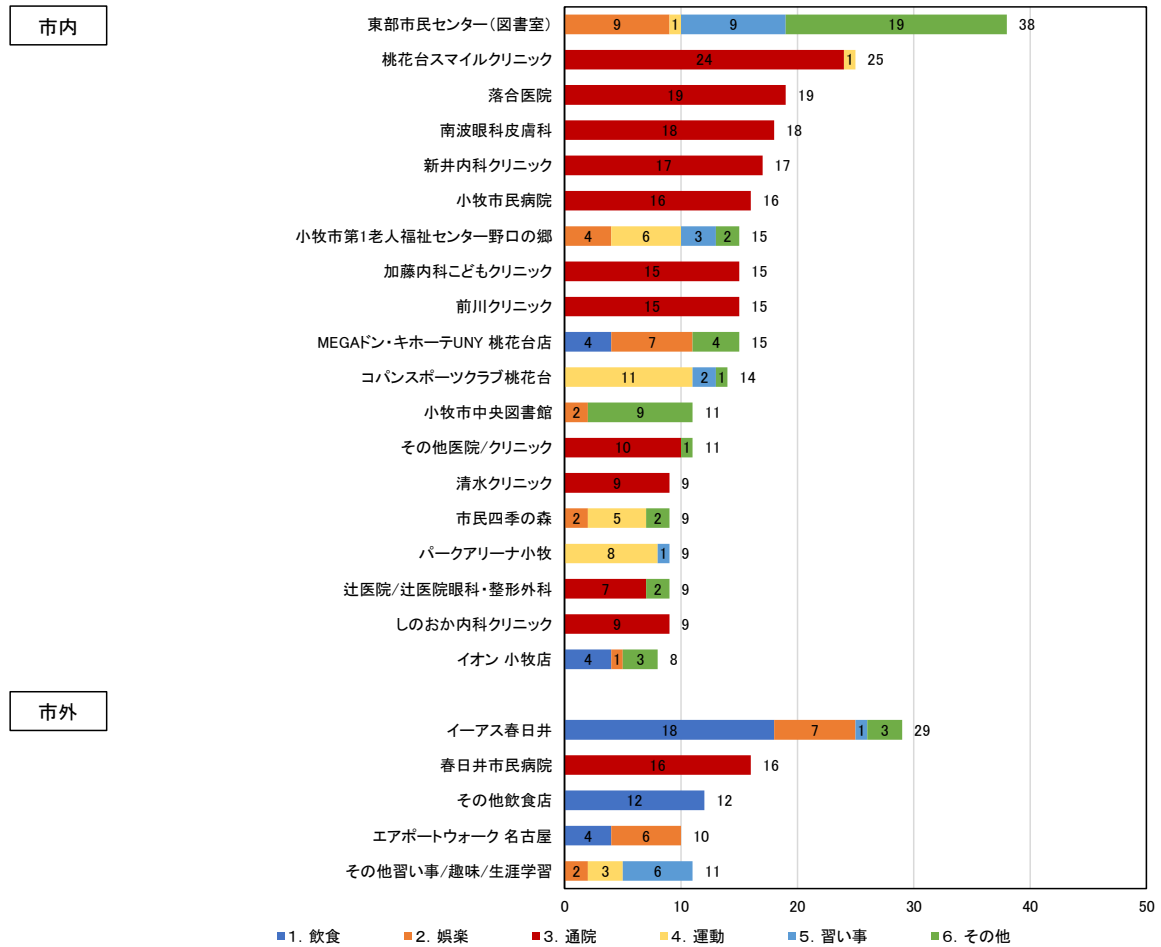
<問8 買い物目的以外で普段よく行く施設>

○市内では、「東部市民センター(図書室)」が最も回答が多く、次いで「桃花台スマイルクリニック」、「落合医院」となっている。頻度はほとんどの施設において「月に2~3回」が最も多い。

○市外では、「イーアス 春日井」が最も回答が多く、次いで「春日井市民病院」、「その他飲食店」となっている。頻度はどの施設においても「月に2~3回」が最も多い。

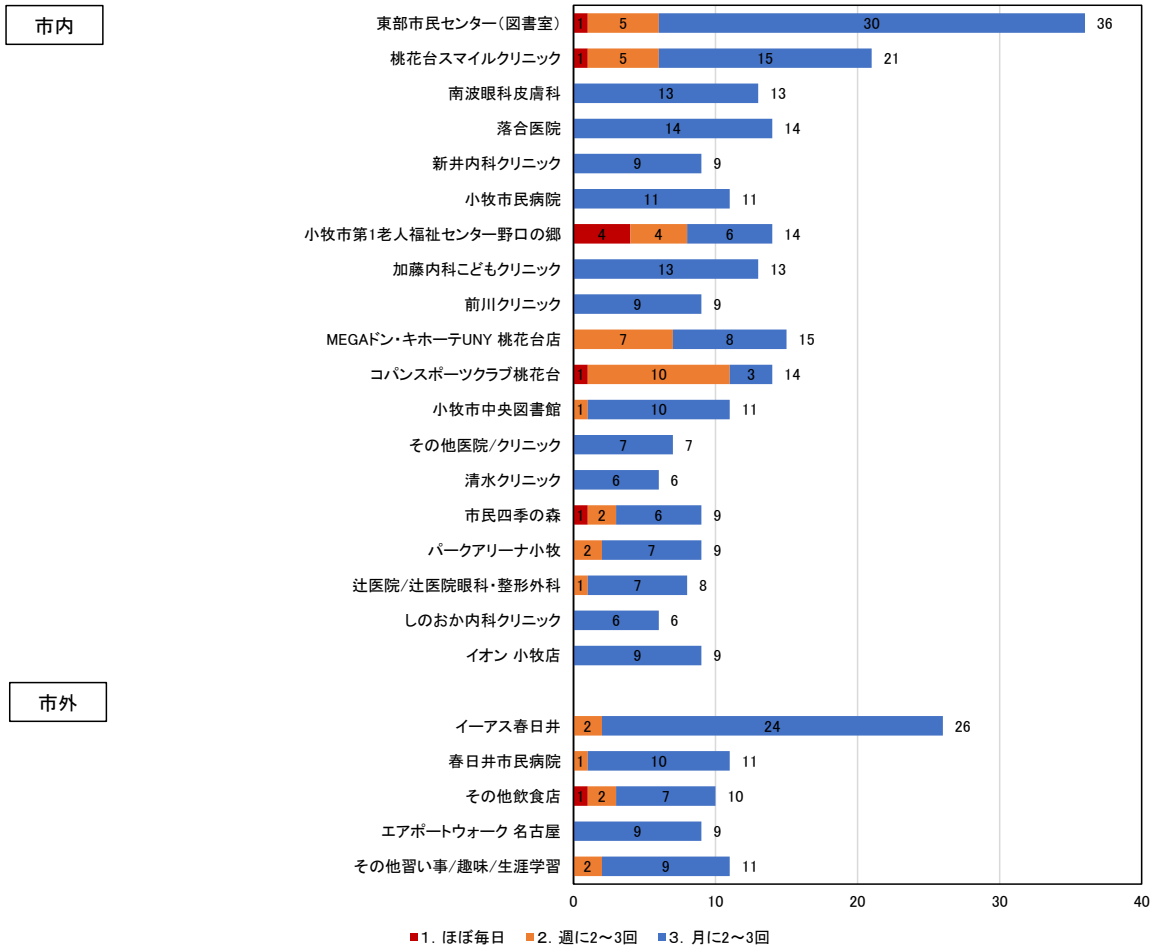
○移動手段は、市内市外問わずほとんどの施設において自家用車での移動が半数以上を占めている。

問8 買い物目的以外で普段よく(月に2~3回以上)行くところについて(目的)複数回答



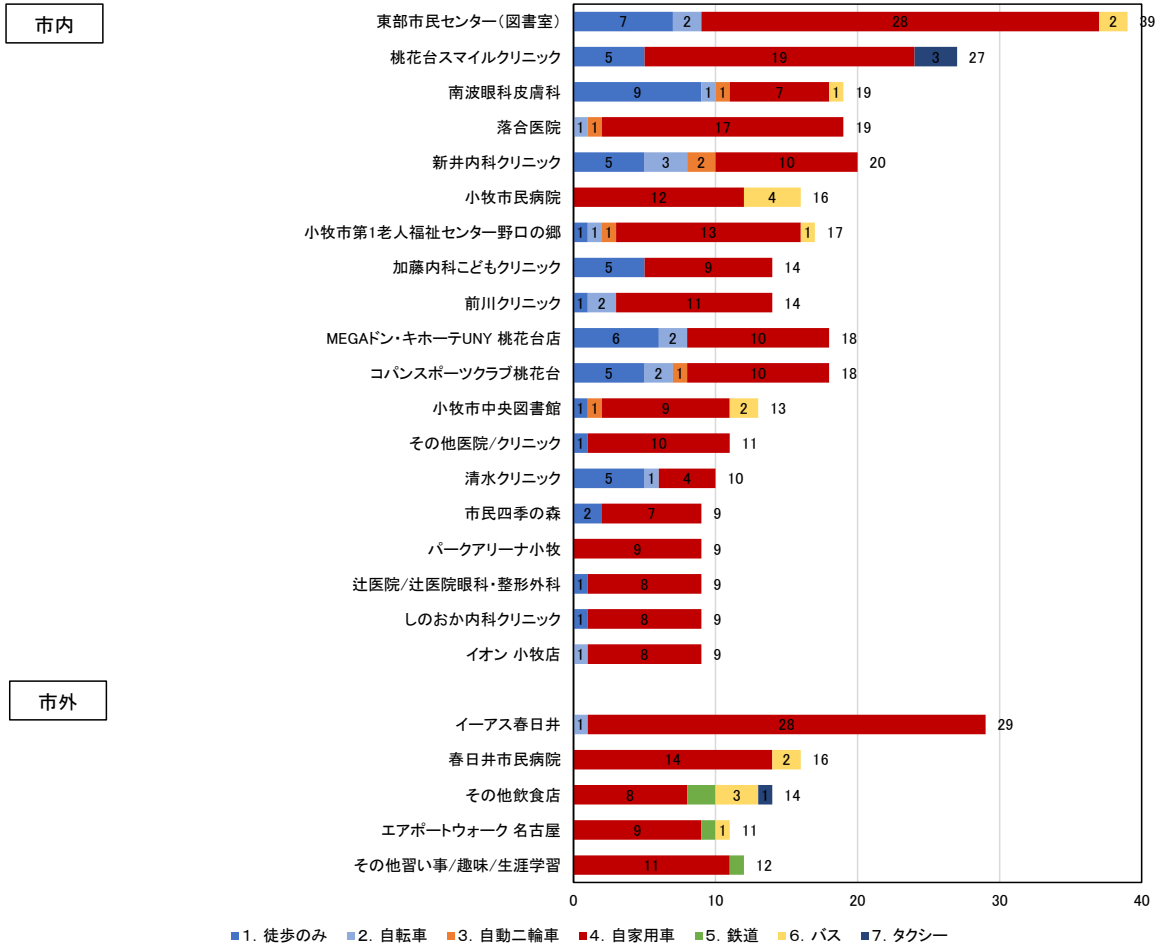
※施設名の回答数をもとに降順で整理

問8 買い物目的以外で普段よく(月に2~3回以上)行くところについて(頻度)複数回答



※施設名の回答数をもとに降順で整理

問8 買い物目的以外で普段よく(月に2~3回以上)行くところについて(移動手段) 複数回答



※施設名の回答数をもとに降順で整理

<問9 日用品及びそれ以外の買い物状況に対する満足度：日用品の買い物について>

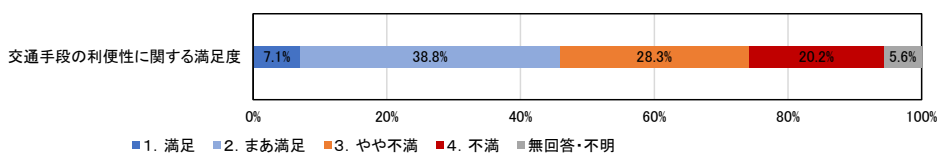
○交通手段の利便性に関する満足度は、「満足」、「まあ満足」を合わせた回答割合が約46%となっており、「やや不満」、「不満」を合わせた回答割合の約49%を下回っている。

○施設の立地に関する満足度について、自宅との近さは、「満足」、「まあ満足」を合わせた回答割合が約57%となっており、「やや不満」、「不満」を合わせた回答割合の約35%を上回っている。

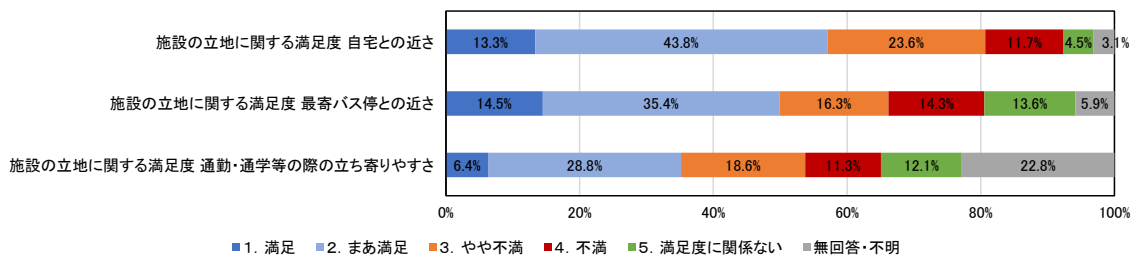
最寄りバス停との近さは、「満足」、「まあ満足」を合わせた回答割合が約50%となっており、「やや不満」、「不満」を合わせた回答割合の約31%を上回っている。

通勤・通学等の際の立ち寄りやすさは、「満足」、「まあ満足」を合わせた回答割合が約35%となっており、「やや不満」、「不満」を合わせた回答割合の約30%を上回っている。

問9 日用品の買い物に関する満足度について n=802



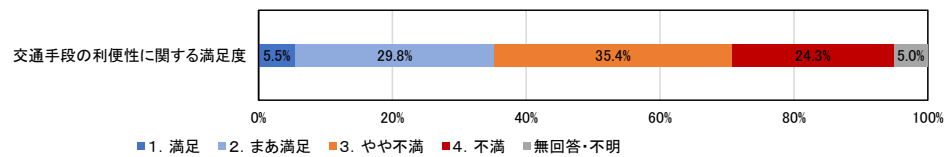
問9 日用品の買い物に関する満足度について n=802



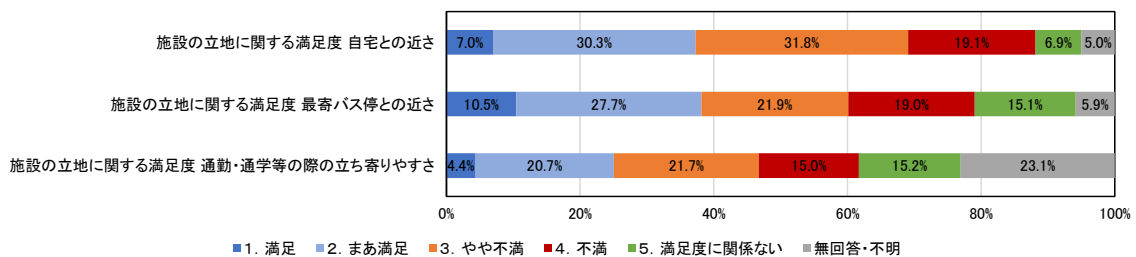
<問9 日用品及びそれ以外の買い物状況に対する満足度：日用品以外の買い物について>

- 交通手段の利便性に関する満足度は、「満足」、「まあ満足」を合わせた回答割合が約 35%となっており、「やや不満」、「不満」を合わせた回答割合の約 60%を下回っている。
- 施設の立地に関する満足度について、自宅との近さは、「満足」、「まあ満足」を合わせた回答割合が約 37%となっており、「やや不満」、「不満」を合わせた回答割合の約 51%を下回っている。
最寄りバス停との近さは、「満足」、「まあ満足」を合わせた回答割合が約 38%となっており、「やや不満」、「不満」を合わせた回答割合の約 41%を下回っている。
通勤・通学等の際の立ち寄りやすさは、「満足」、「まあ満足」を合わせた回答割合が約 25%となっており、「やや不満」、「不満」を合わせた回答割合の約 38%を下回っている。

問9 日用品以外の買い物に関する満足度について n=802



問9 日用品以外の買い物に関する満足度について n=802

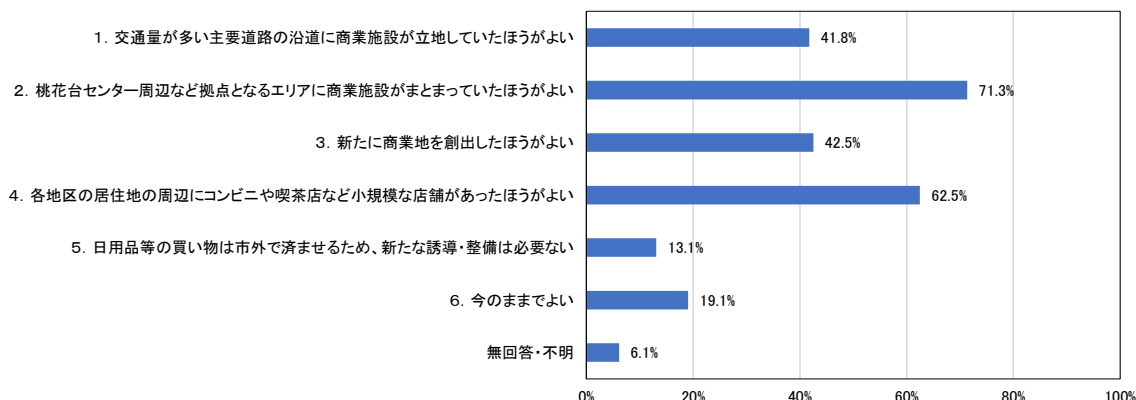


③東部地域の商業に関する今後のまちづくりの方向性について

<問10 これからの商業地をどのように誘導・整備していくべきか>

- これからの商業地をどのように誘導・整備していくべきかについて、全体では「桃花台センター周辺など拠点となるエリアに商業施設がまとまっていたほうがよい」が最も回答が多く、次いで「各地区の居住地の周辺にコンビニや喫茶店など小規模な店舗があったほうがよい」、「新たに商業地を創出したほうがよい」となっている。
- 第1位は「桃花台センター周辺など拠点となるエリアに商業施設がまとまっていたほうがよい」が最も回答が多く、次いで「各地区の居住地の周辺にコンビニや喫茶店など小規模な店舗があったほうがよい」、「新たに商業地を創出したほうがよい」となっている。
- 第2位は「各地区の居住地の周辺にコンビニや喫茶店など小規模な店舗があったほうがよい」が最も回答が多く、次いで「桃花台センター周辺など拠点となるエリアに商業施設がまとまっていたほうがよい」、「交通量が多い主要道路の沿道に商業施設が立地していたほうがよい」となっている。
- 第3位は「交通量が多い主要道路の沿道に商業施設が立地していたほうがよい」が最も回答が多く、次いで「各地区の居住地の周辺にコンビニや喫茶店など小規模な店舗があったほうがよい」、「新たに商業地を創出したほうがよい」となっている。

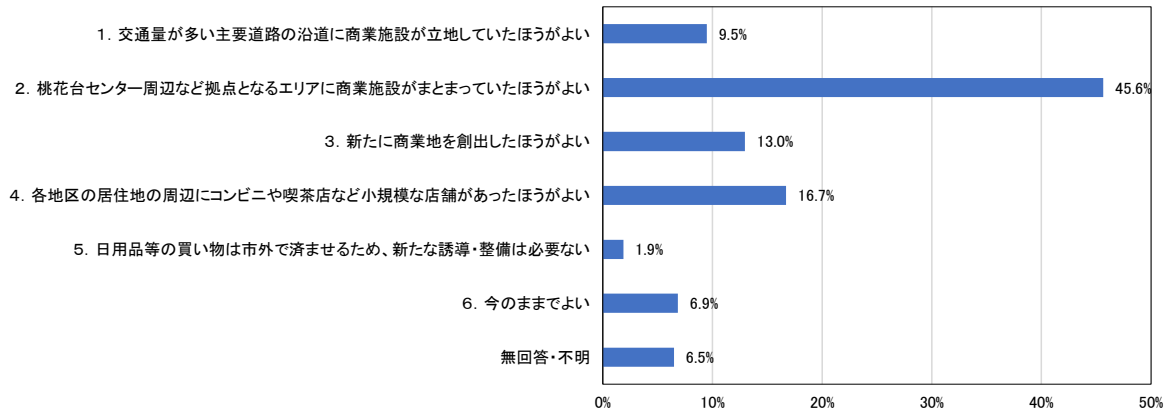
問10 商業地の誘導・整備について 全体 n=802



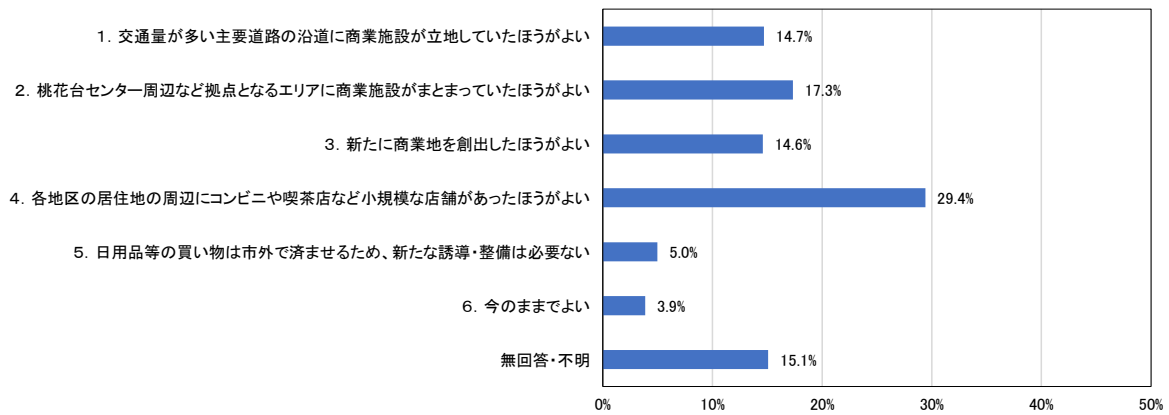
※この設問の回答方式は、回答者が必要だと思う順に選択肢を3つまで選択する方式である

※構成比の母数は全回答者数である

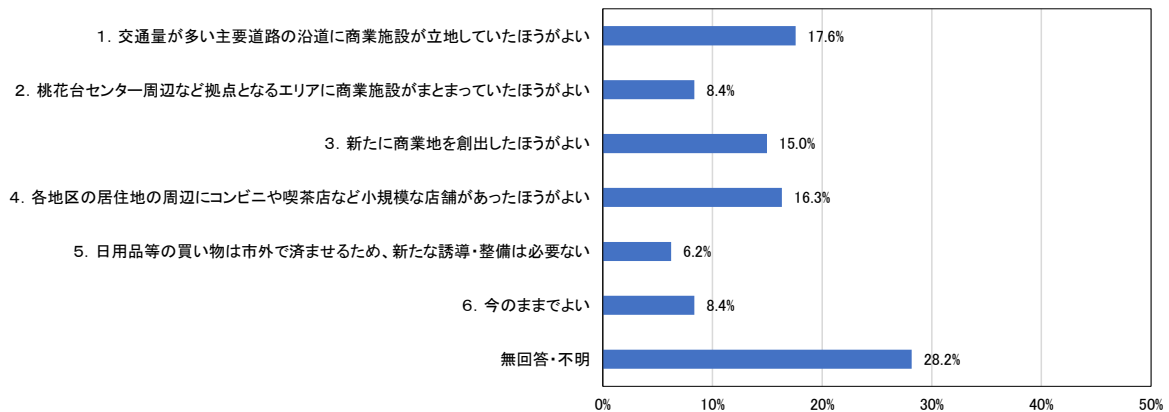
問10 商業地の誘導・整備について 第1位 n=802



問10 商業地の誘導・整備について 第2位 n=802



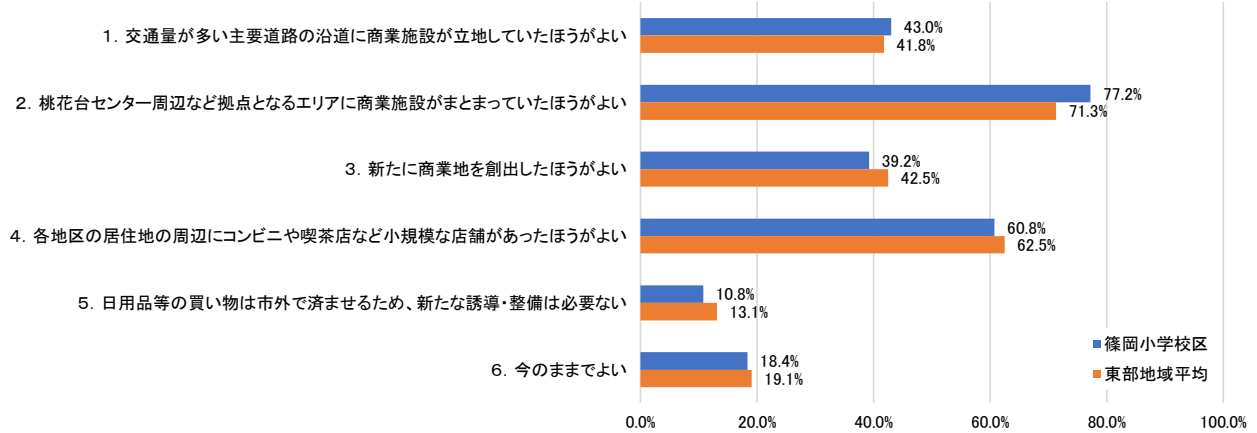
問10 商業地の誘導・整備について 第3位 n=802



○篠岡小学校区では、「交通量が多い主要道路の沿道に商業施設が立地していたほうがよい」、「桃花台センター周辺など拠点となるエリアに商業施設がまとまっていたほうがよい」の回答割合が市平均と比較して高くなっている。

篠岡小学校区

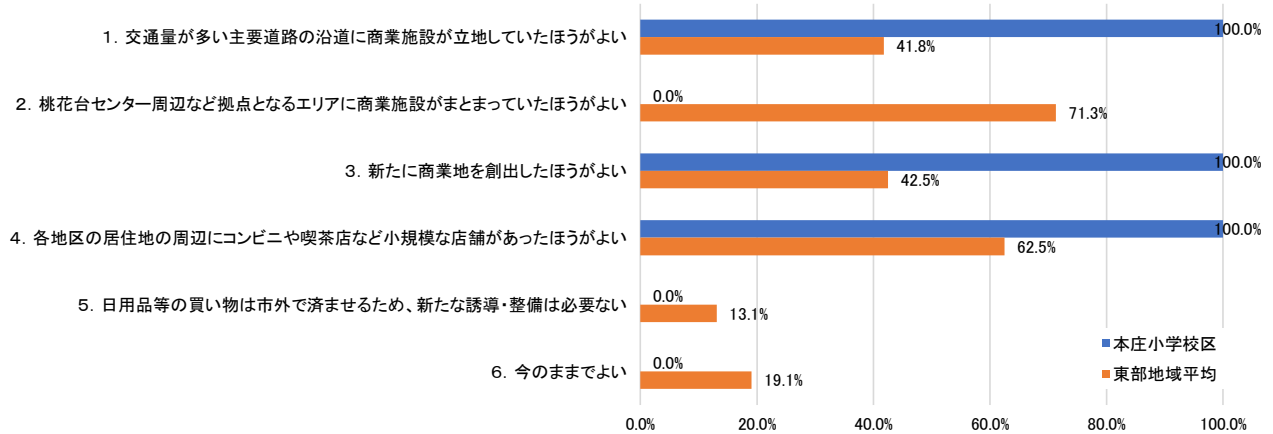
N=158



○本庄小学校区では、「交通量が多い主要道路の沿道に商業施設が立地していたほうがよい」、「桃花台センター周辺など拠点となるエリアに商業施設がまとまっていたほうがよい」、「新たに商業地を創出したほうがよい」の回答割合が市平均と比較して高くなっている。

本庄小学校区

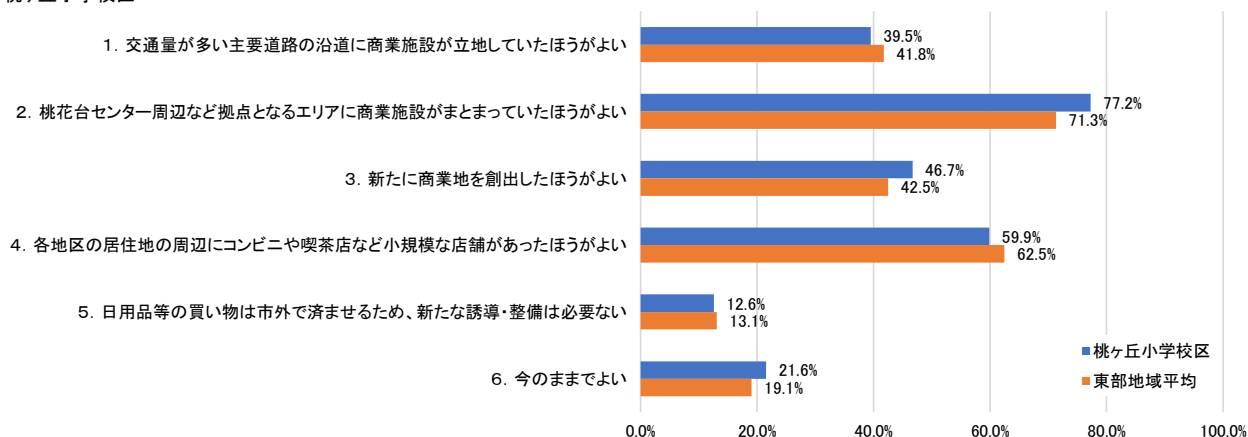
N=1



○桃ヶ丘小学校区では、「桃花台センター周辺など拠点となるエリアに商業施設がまとまっていたほうがよい」、「新たに商業地を創出したほうがよい」、「今のままでよい」等の回答割合が市平均と比較して高くなっている。

桃ヶ丘小学校区

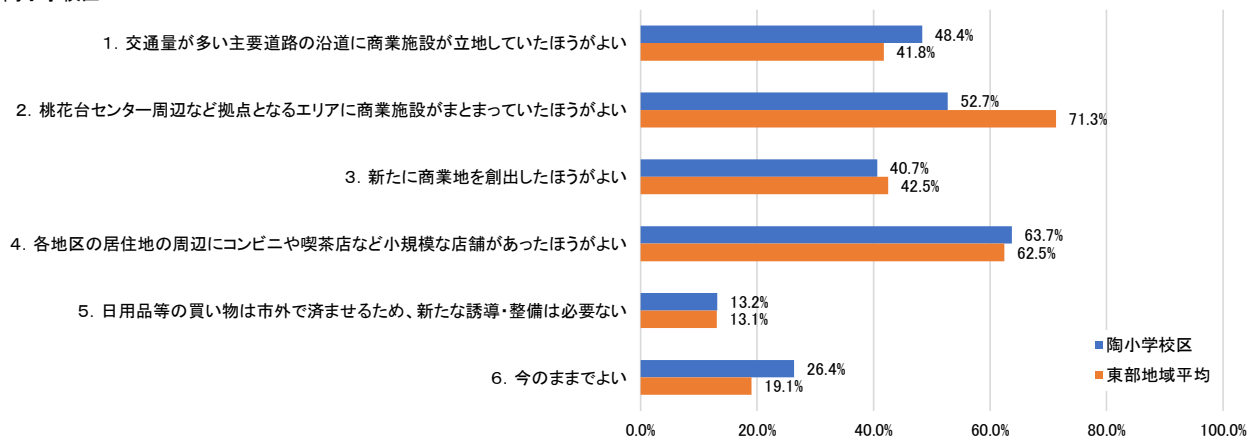
N=167



○陶小学校区では、「交通量が多い主要道路の沿道に商業施設が立地していたほうがよい」、「各地区の居住地の周辺にコンビニや喫茶店など小規模な店舗があったほうがよい」、「今のままでよい」の回答割合が市平均と比較して高くなっている。

陶小学校区

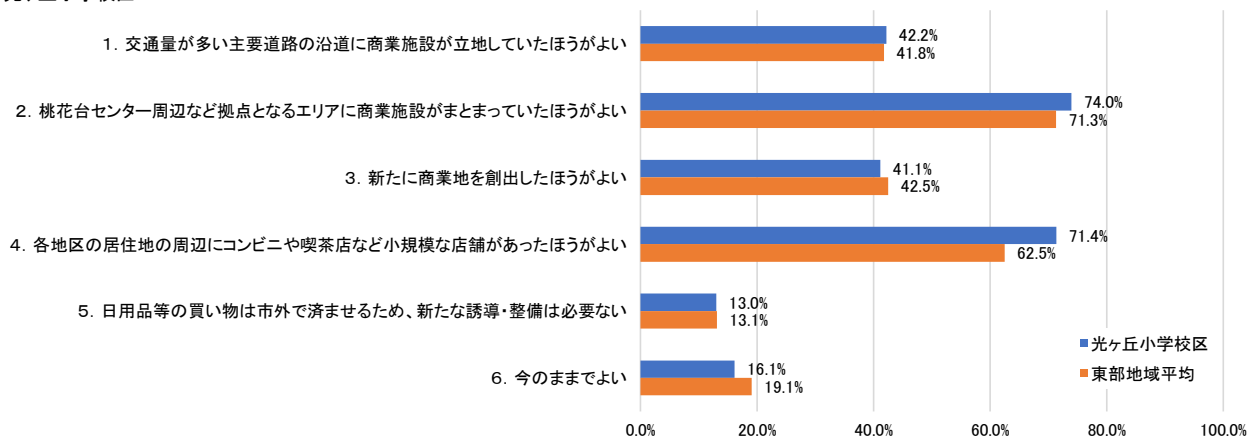
N=91



○光ヶ丘小学校区では、「交通量が多い主要道路の沿道に商業施設が立地していたほうがよい」、「桃花台センター周辺など拠点となるエリアに商業施設がまとまっていたほうがよい」「各地区の居住地の周辺にコンビニや喫茶店など小規模な店舗があったほうがよい」の回答割合が市平均と比較して高くなっている。

光ヶ丘小学校区

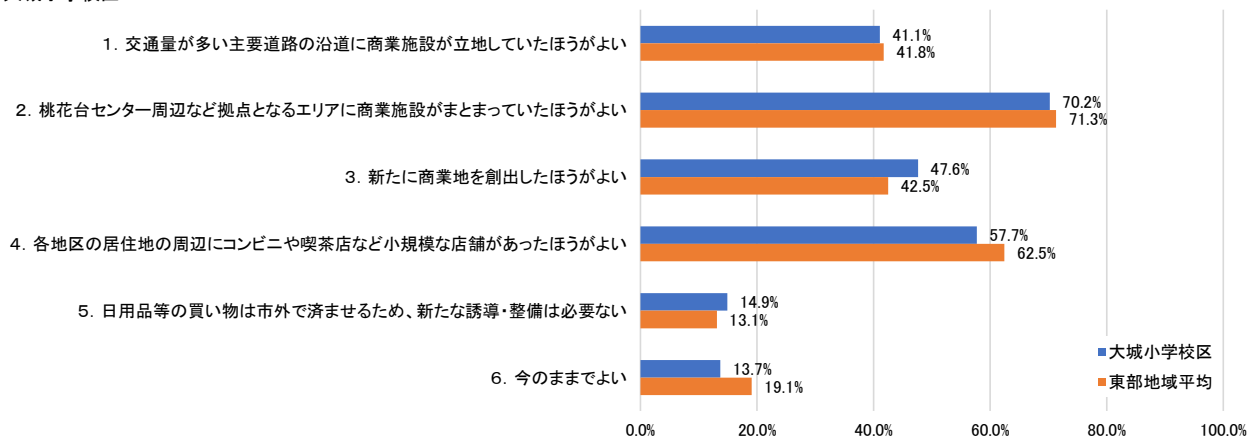
N=192



○大城小学校区では、「新たに商業地を創出したほうがよい」、「日用品等の買い物は市外で済ませるため、新たな誘導・整備は必要ない」の回答割合が市平均と比較して高くなっている。

大城小学校区

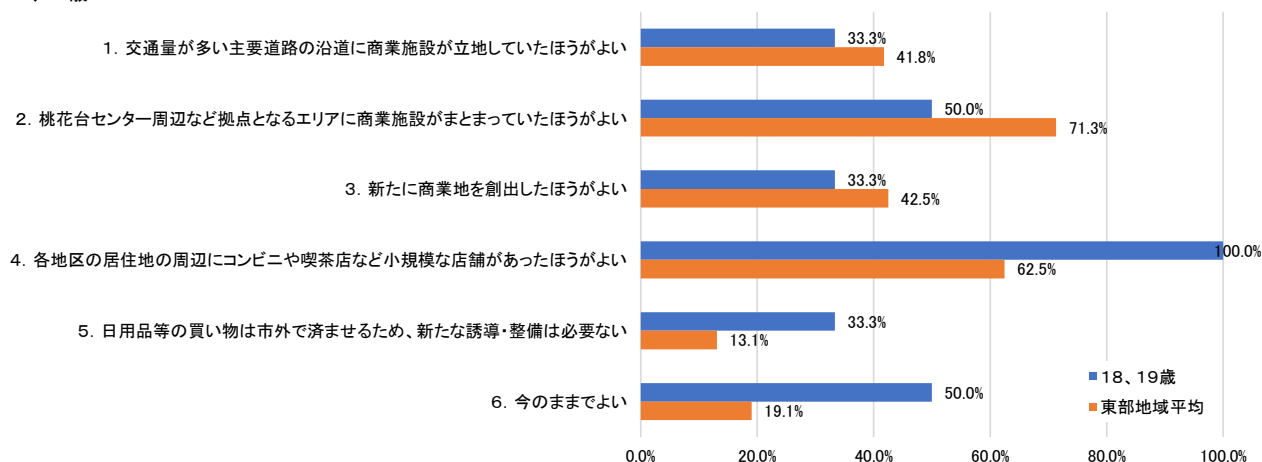
N=168



○18、19 歳では、「各地区の居住地の周辺にコンビニや喫茶店など小規模な店舗があったほうがよい」、「日用品等の買い物は市外で済ませるため、新たな誘導・整備は必要ない」、「今のままでよい」の回答割合が市平均と比較して高くなっている。

18、19歳

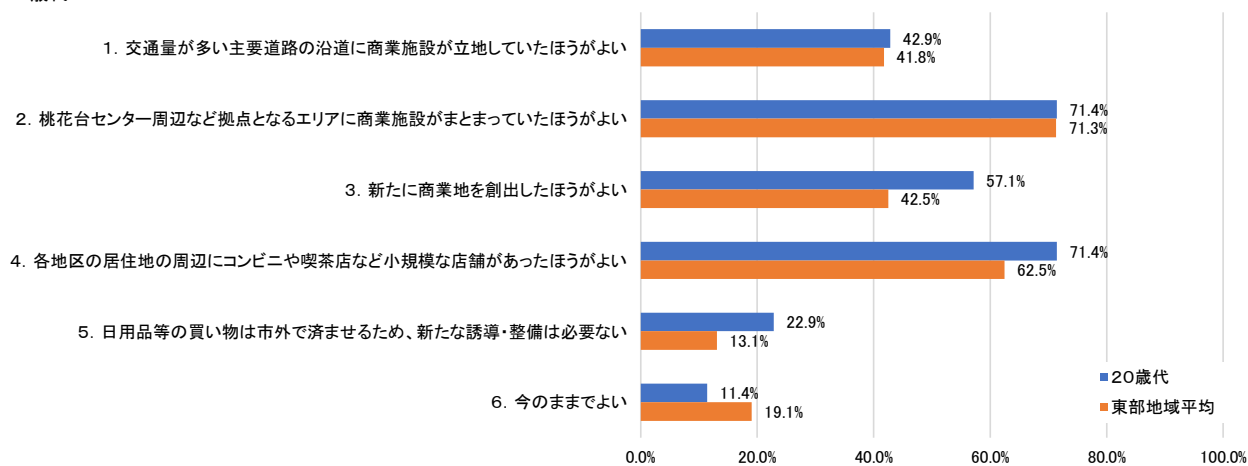
N=6



○20 歳代では、「新たに商業地を創出したほうがよい」、「各地区の居住地の周辺にコンビニや喫茶店など小規模な店舗があったほうがよい」、「日用品等の買い物は市外で済ませるため、新たな誘導・整備は必要ない」等の回答割合が市平均と比較して高くなっている。

20歳代

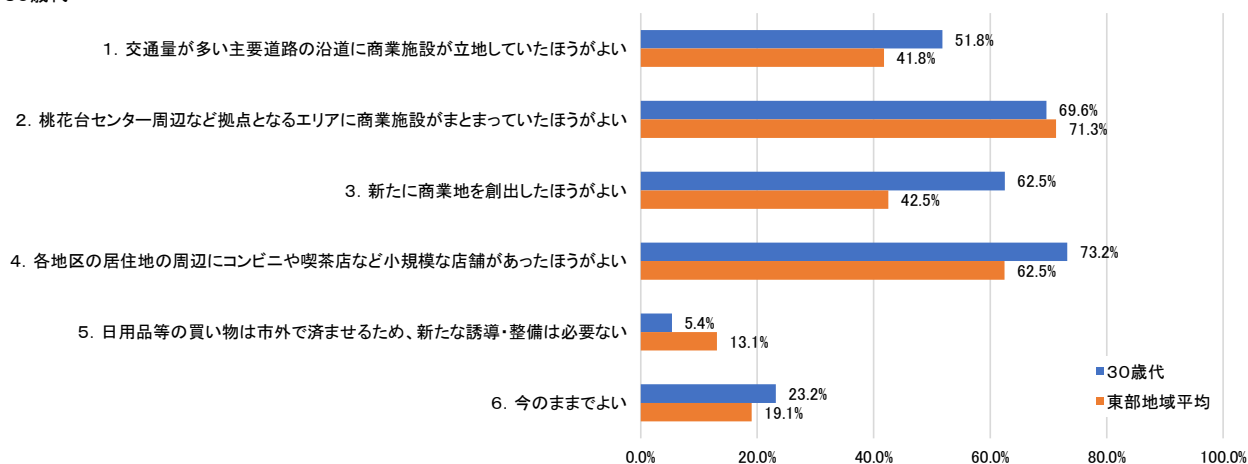
N=35



○30歳代では、「交通量が多い主要道路の沿道に商業施設が立地していたほうがよい」、「新たに商業地を創出したほうがよい」、「各地区の居住地の周辺にコンビニや喫茶店など小規模な店舗があったほうがよい」等の回答割合が市平均と比較して高くなっている。

30歳代

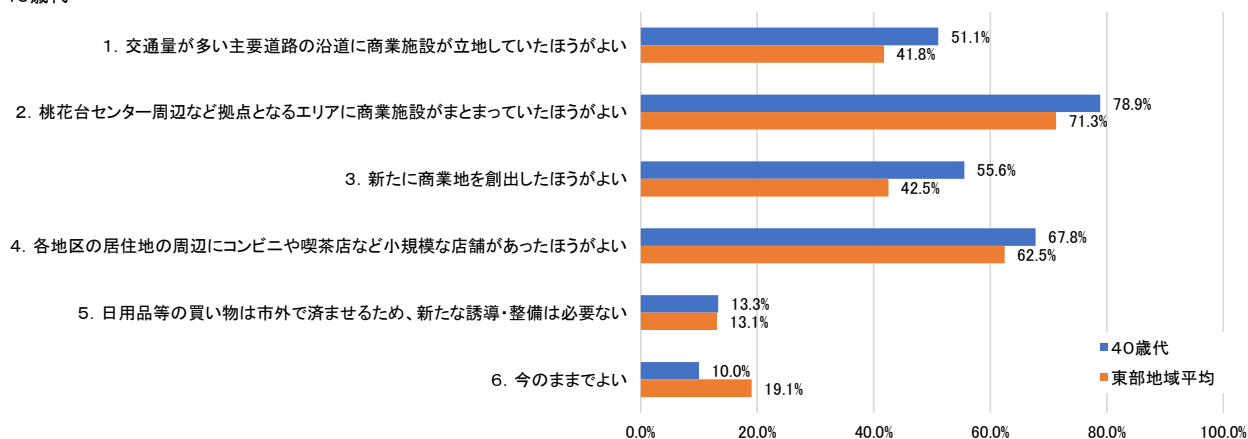
N=56



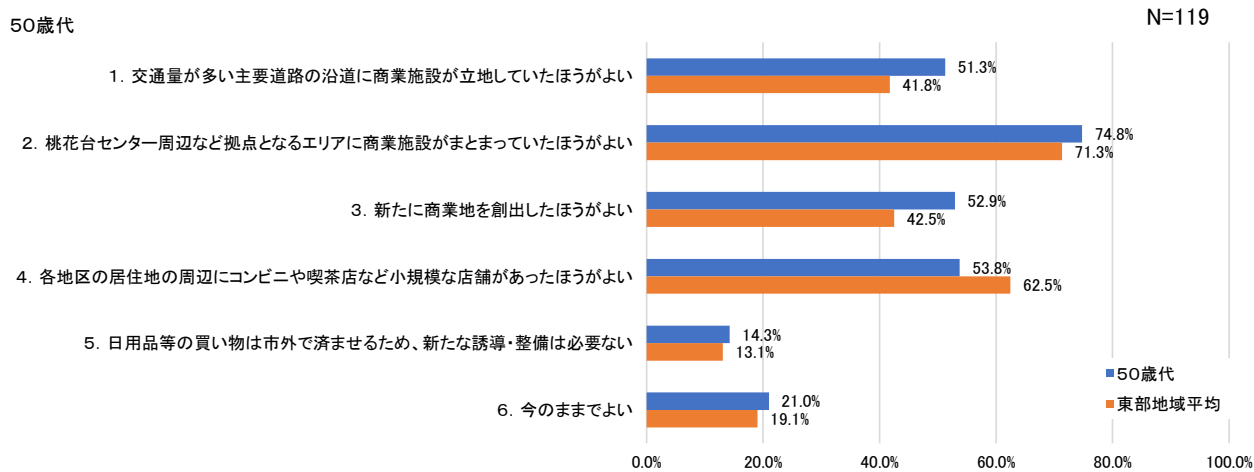
○40歳代では、「交通量が多い主要道路の沿道に商業施設が立地していたほうがよい」、「新たに商業地を創出したほうがよい」、「各地区の居住地の周辺にコンビニや喫茶店など小規模な店舗があったほうがよい」等の回答割合が市平均と比較して高くなっている。

40歳代

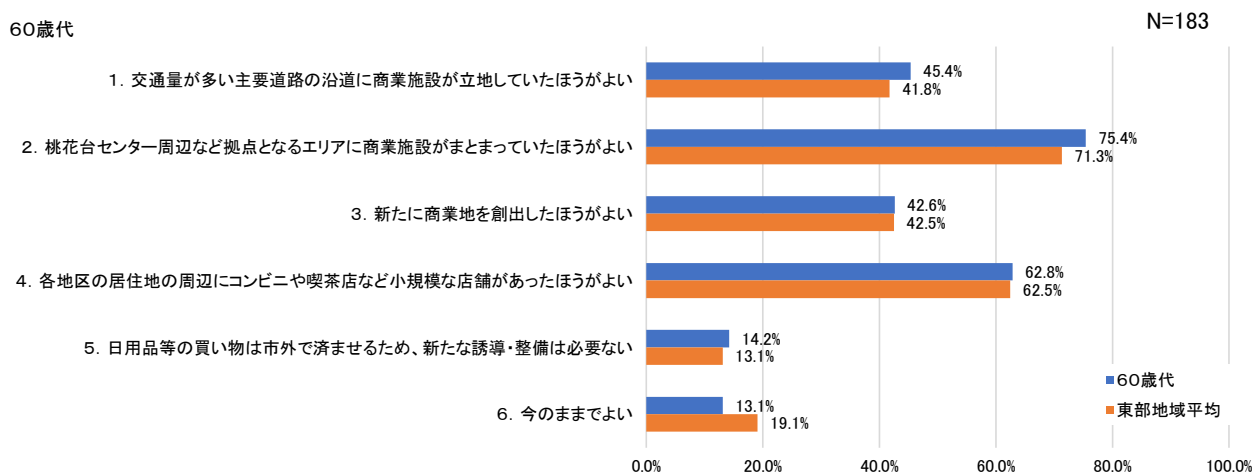
N=90



○50 歳代では、「交通量が多い主要道路の沿道に商業施設が立地していたほうがよい」、「桃花台センター周辺など拠点となるエリアに商業施設がまとまっていたほうがよい」、「新たに商業地を創出したほうがよい」等の回答割合が市平均と比較して高くなっている。



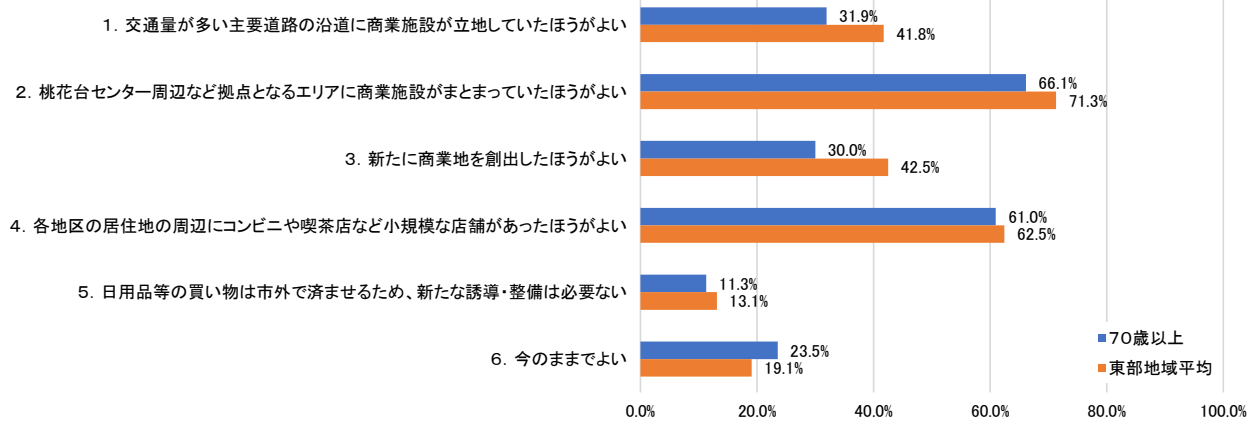
○60 歳代では、「交通量が多い主要道路の沿道に商業施設が立地していたほうがよい」、「桃花台センター周辺など拠点となるエリアに商業施設がまとまっていたほうがよい」、「日用品等の買い物は市外で済ませるため、新たな誘導・整備は必要ない」等の回答割合が市平均と比較して高くなっている。



○70歳以上では、「今のままでよい」の回答割合のみ市平均と比較して高くなっている。

70歳以上

N=310



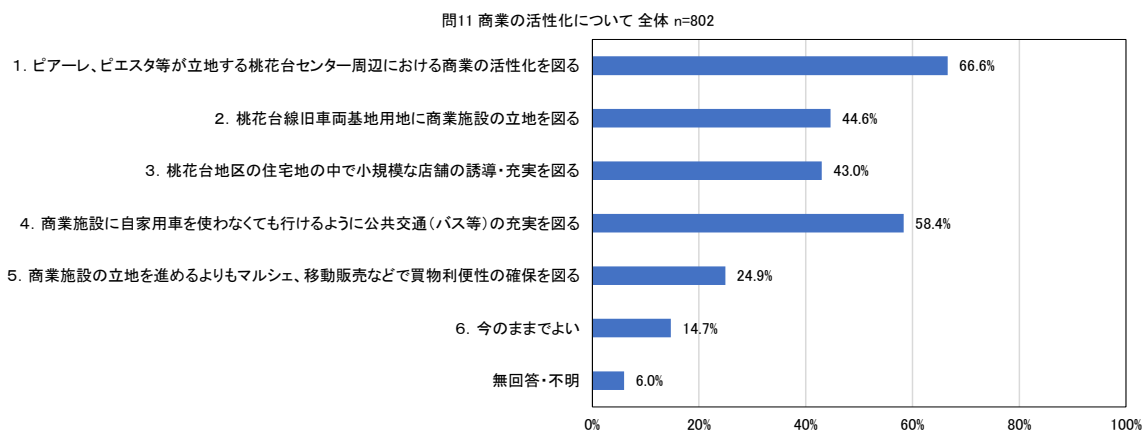
<問 11 これからの商業の活性化についてどのようなまちづくりを行っていくべきか>

○これからの商業の活性化についてどのようなまちづくりを行っていくべきかについて、全体では「ピアーレ、ピエスタ等が立地する桃花台センター周辺における商業の活性化を図る」が最も回答が多く、次いで「商業施設に自家用車を使わなくても行けるように公共交通(バス等)の充実を図る」、「桃花台線旧車両基地用地に商業施設の立地を図る」となっている。

○第 1 位は「ピアーレ、ピエスタ等が立地する桃花台センター周辺における商業の活性化を図る」が最も回答が多く、次いで「商業施設に自家用車を使わなくても行けるように公共交通(バス等)の充実を図る」、「桃花台線旧車両基地用地に商業施設の立地を図る」となっている。

○第 2 位は「桃花台線旧車両基地用地に商業施設の立地を図る」が最も回答が多く、次いで「商業施設に自家用車を使わなくても行けるように公共交通(バス等)の充実を図る」、「桃花台地区の住宅地の中で小規模な店舗の誘導・充実を図る」となっている。

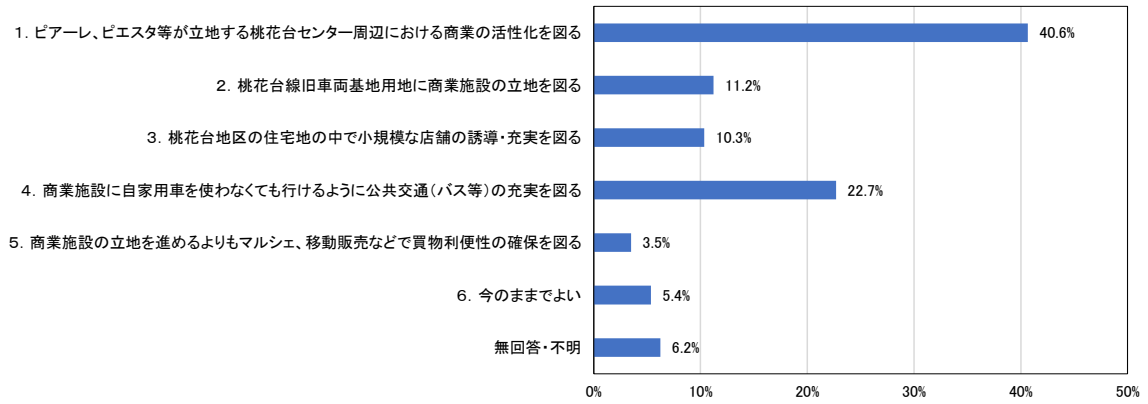
○第 3 位は「桃花台地区の住宅地の中で小規模な店舗の誘導・充実を図る」が最も回答が多く、次いで「商業施設に自家用車を使わなくても行けるように公共交通(バス等)の充実を図る」、「桃花台線旧車両基地用地に商業施設の立地を図る」となっている。



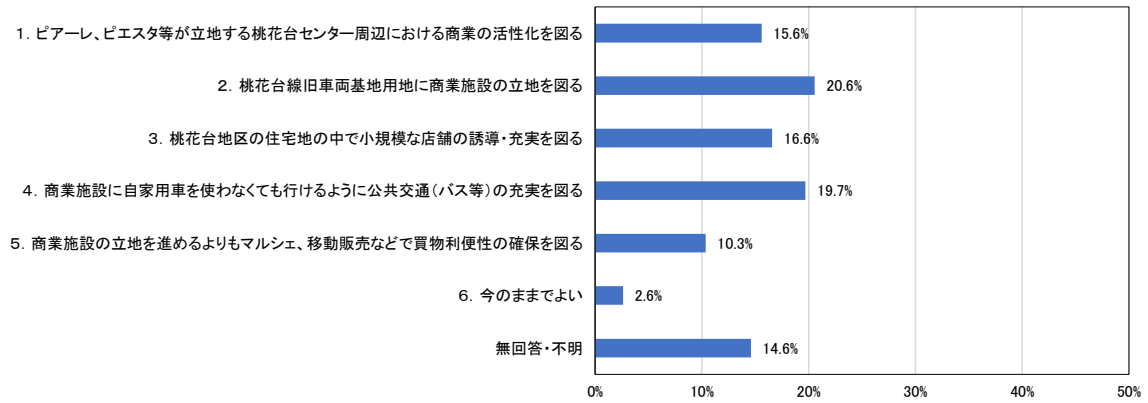
※この設問の回答方式は、回答者が必要だと思う順に選択肢を3つまで選択する方式である

※構成比の母数は全回答者数である

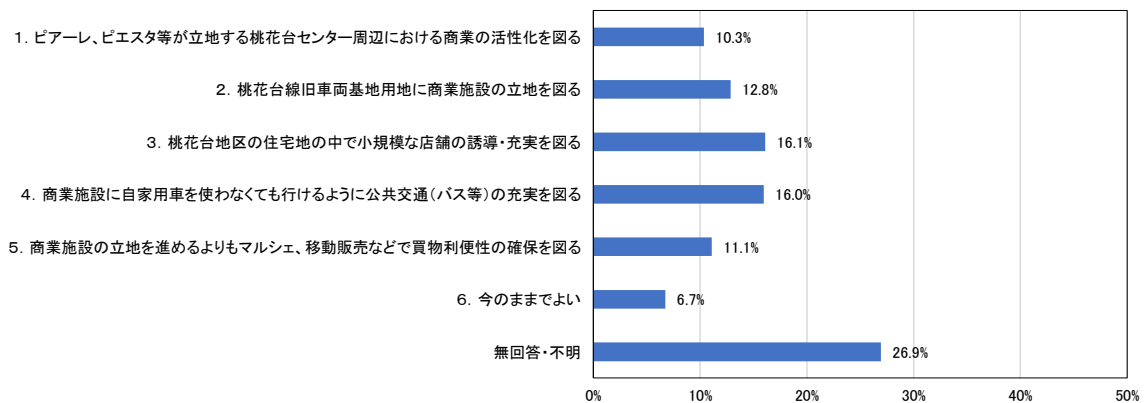
問11 商業の活性化について 第1位 n=802



問11 商業の活性化について 第2位 n=802



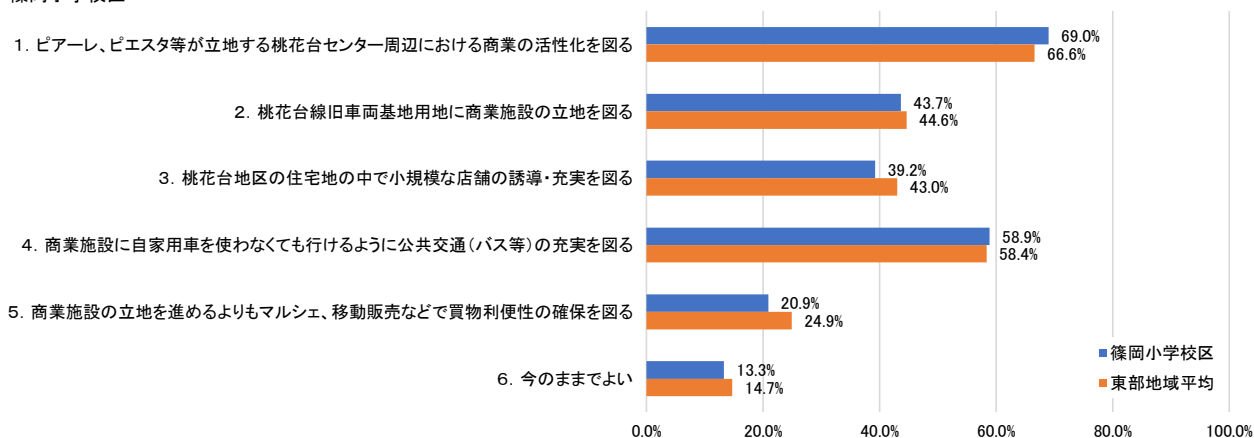
問11 商業の活性化について 第3位 n=802



○篠岡小学校区では、「ピアール、ピエスタ等が立地する桃花台センター周辺における商業の活性化を図る」、「商業施設に自家用車を使わなくても行けるように公共交通(バス等)の充実を図る」の回答割合が市平均と比較して高くなっている。

篠岡小学校区

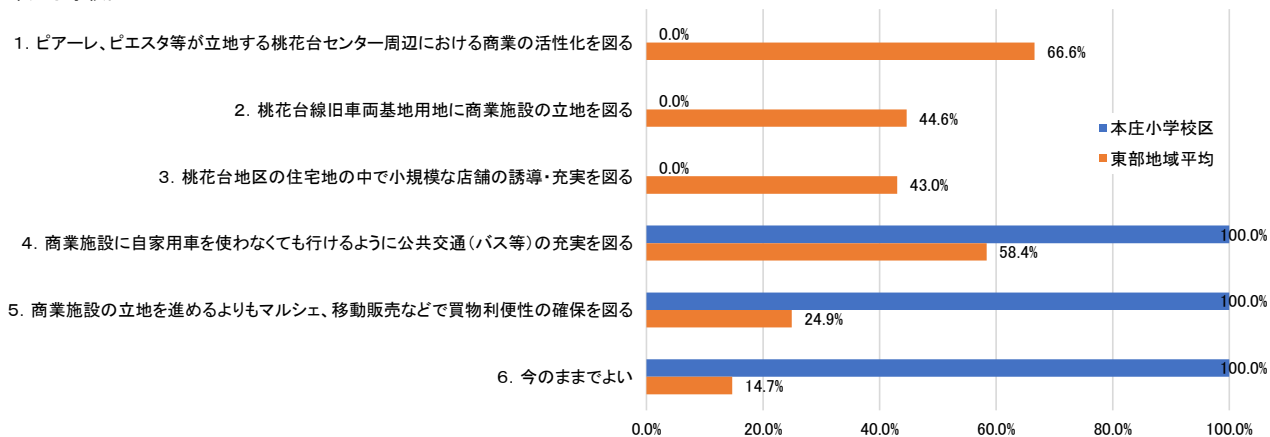
N=158



○本庄小学校区では、「商業施設に自家用車を使わなくても行けるように公共交通(バス等)の充実を図る」、「商業施設の立地を進めるよりもマルシェ、移動販売などで買物利便性の確保を図る」、「今のままでよい」の回答割合が市平均と比較して高くなっている。

本庄小学校区

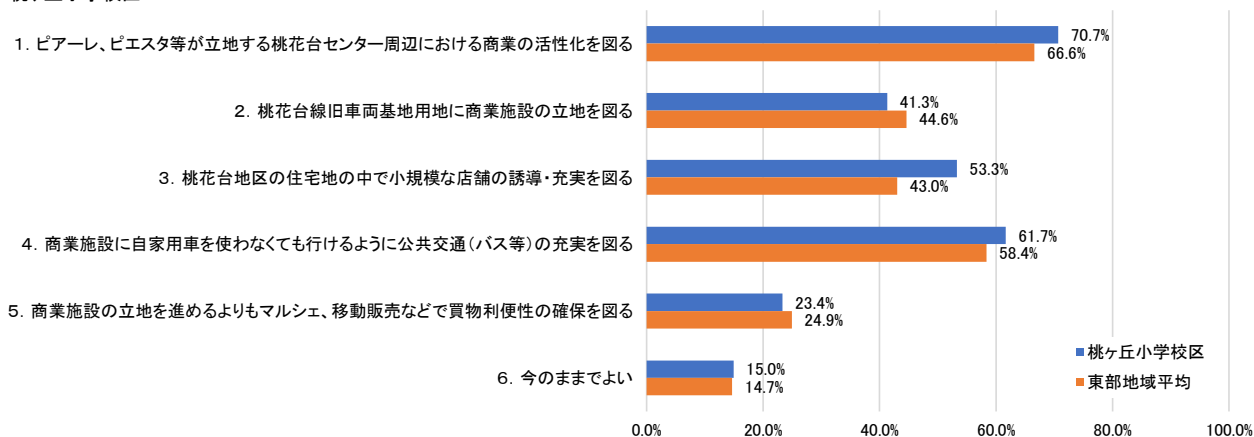
N=1



○桃ヶ丘小学校区では、「ピアーレ、ピエスタ等が立地する桃花台センター周辺における商業の活性化を図る」、「桃花台地区の住宅地の中で小規模な店舗の誘導・充実を図る」、「商業施設に自家用車を使わなくても行けるように公共交通(バス等)の充実を図る」等の回答割合が市平均と比較して高くなっている。

桃ヶ丘小学校区

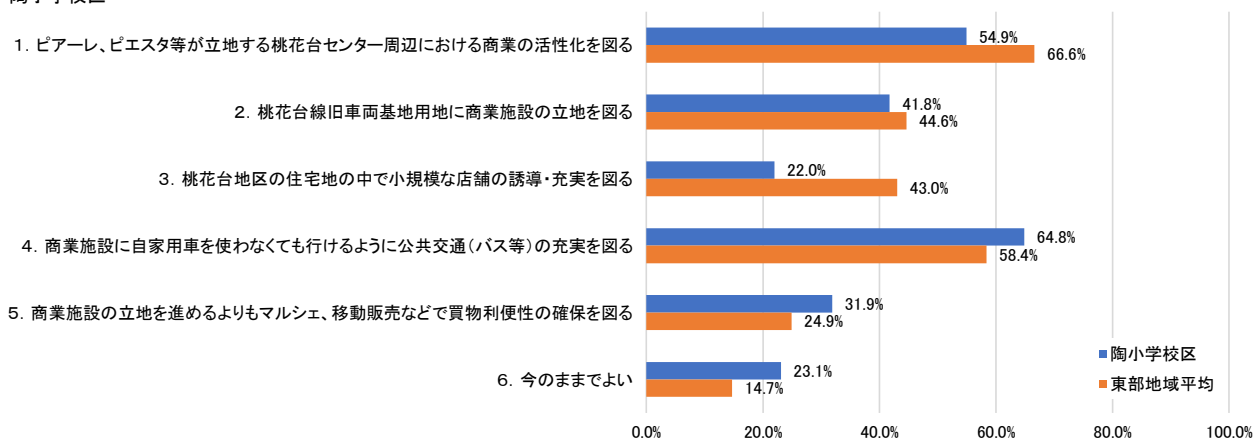
N=167



○陶小学校区では、「商業施設に自家用車を使わなくても行けるように公共交通(バス等)の充実を図る」、「商業施設の立地を進めるよりもマルシェ、移動販売などで買物利便性の確保を図る」、「今のままでよい」の回答割合が市平均と比較して高くなっている。

陶小学校区

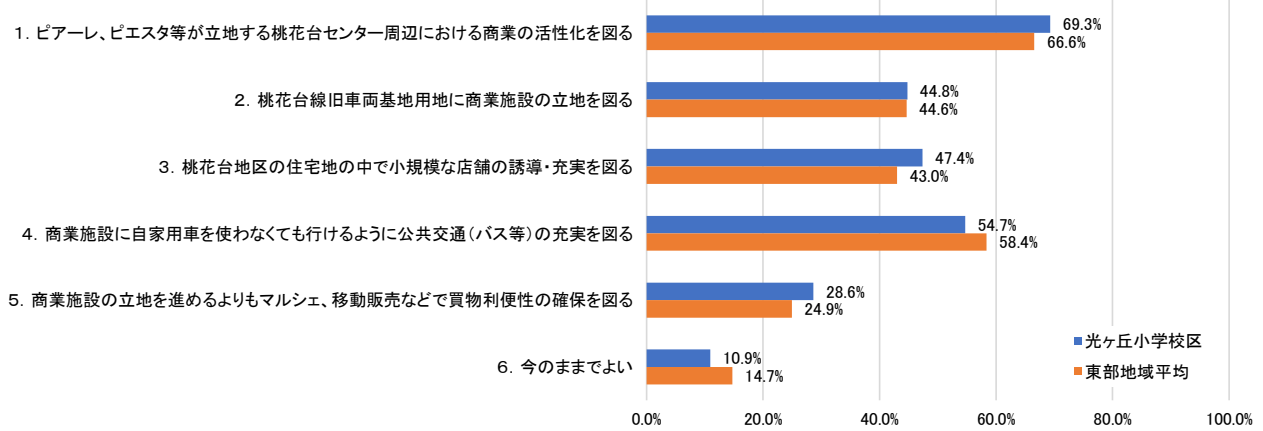
N=91



○光ヶ丘小学校区では、「ピアーレ、ピエスタ等が立地する桃花台センター周辺における商業の活性化を図る」、「桃花台地区の住宅地の中で小規模な店舗の誘導・充実を図る」、「商業施設の立地を進めるよりもマルシェ、移動販売などで買物利便性の確保を図る」等の回答割合が市平均と比較して高くなっている。

光ヶ丘小学校区

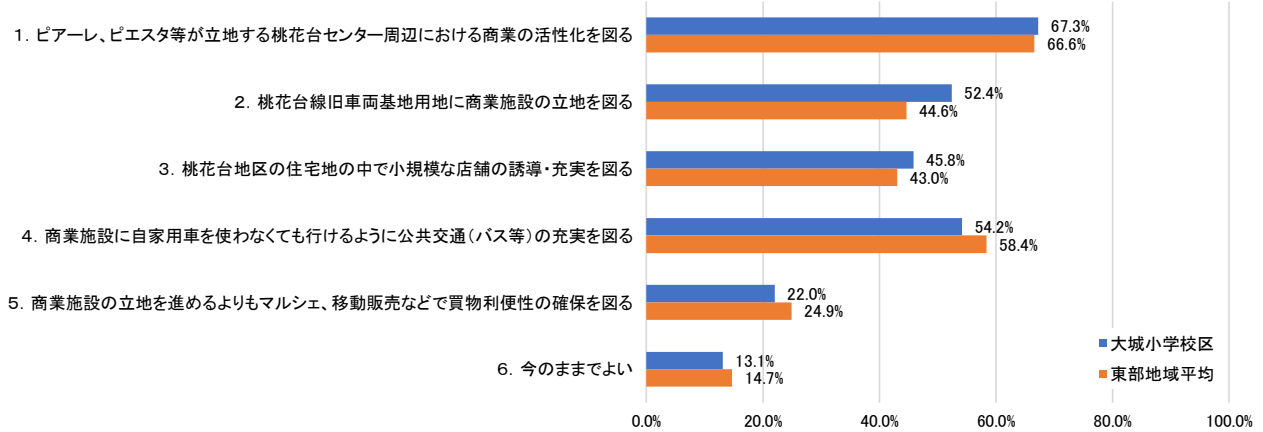
N=192



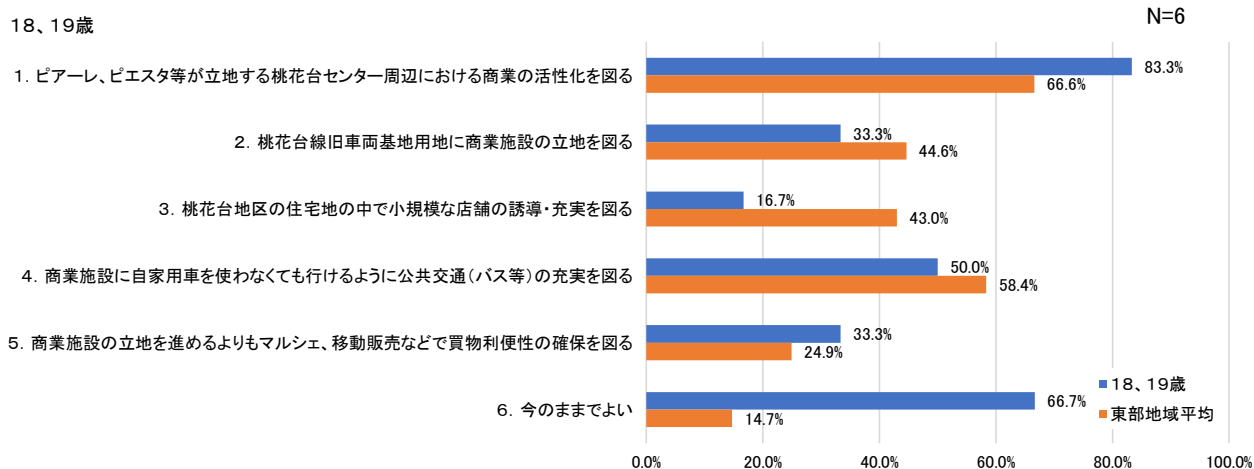
○大城小学校区では、「ピアーレ、ピエスタ等が立地する桃花台センター周辺における商業の活性化を図る」、「桃花台線旧車両基地用地に商業施設の立地を図る」、「桃花台地区の住宅地の中で小規模な店舗の誘導・充実を図る」の回答割合が市平均と比較して高くなっている。

大城小学校区

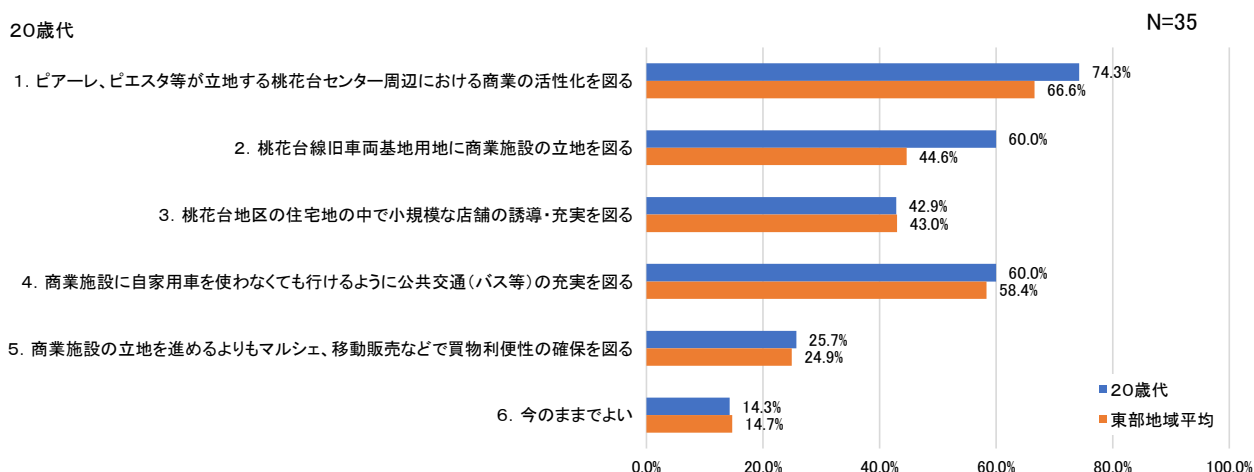
N=168



○18、19 歳では、「ピアーレ、ピエスタ等が立地する桃花台センター周辺における商業の活性化を図る」、「商業施設の立地を進めるよりもマルシェ、移動販売などで買物利便性の確保を図る」、「今のままでよい」の回答割合が市平均と比較して高くなっている。



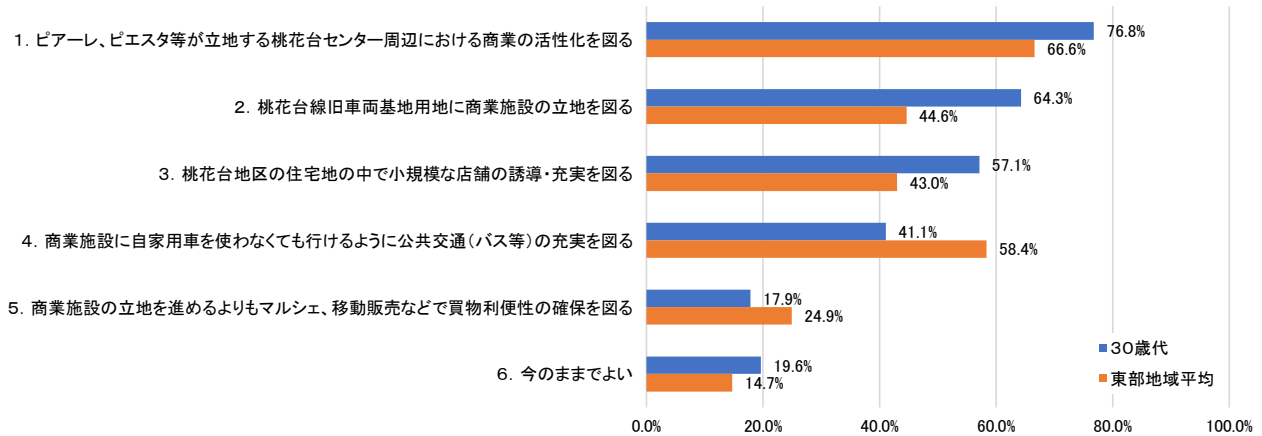
○20 歳代では、「ピアーレ、ピエスタ等が立地する桃花台センター周辺における商業の活性化を図る」、「桃花台線旧車両基地用地に商業施設の立地を図る」、「商業施設に自家用車を使わなくても行けるように公共交通(バス等)の充実を図る」等の回答割合が市平均と比較して高くなっている。



○30 歳代では、「ピアール、ピエスタ等が立地する桃花台センター周辺における商業の活性化を図る」、「桃花台線旧車両基地用地に商業施設の立地を図る」、「桃花台地区の住宅地の中で小規模な店舗の誘導・充実を図る」等の回答割合が市平均と比較して高くなっている。

30歳代

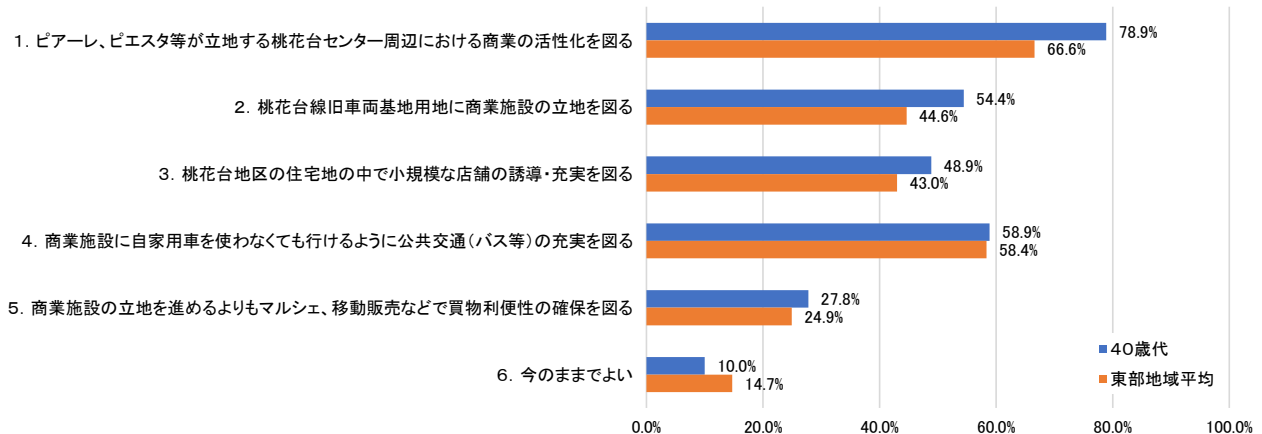
N=56



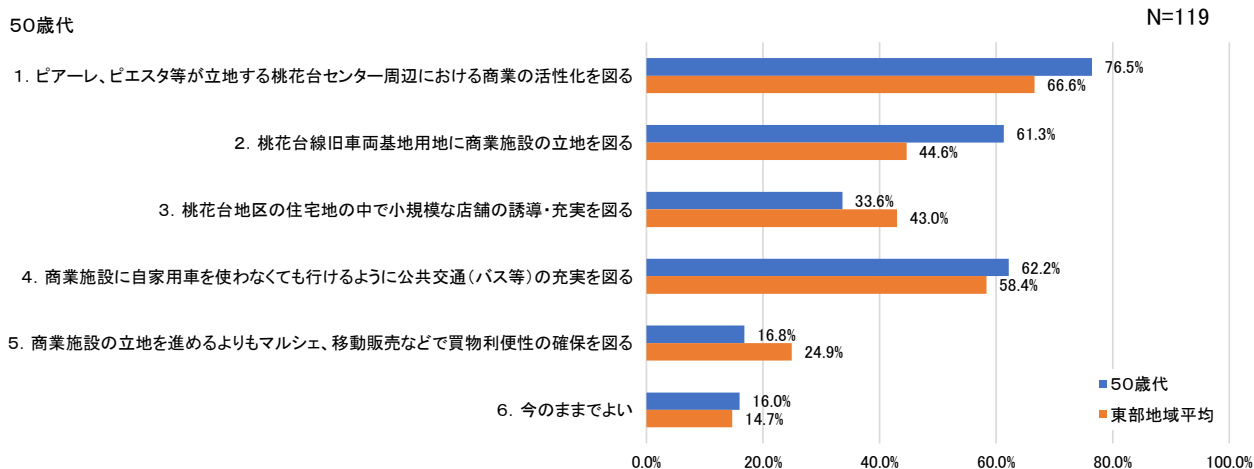
○40 歳代では、「ピアール、ピエスタ等が立地する桃花台センター周辺における商業の活性化を図る」、「桃花台線旧車両基地用地に商業施設の立地を図る」、「桃花台地区の住宅地の中で小規模な店舗の誘導・充実を図る」等の回答割合が市平均と比較して高くなっている。

40歳代

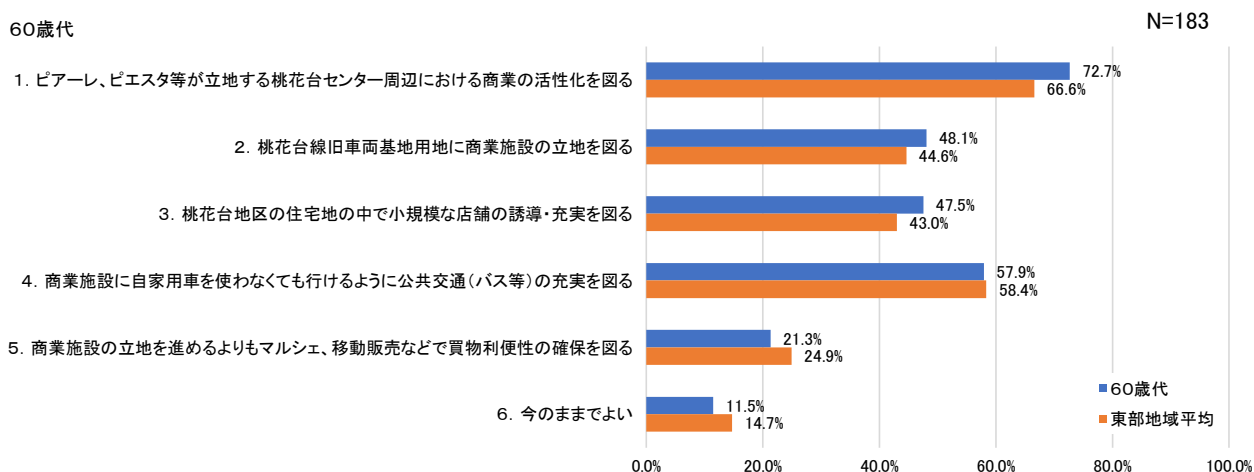
N=90



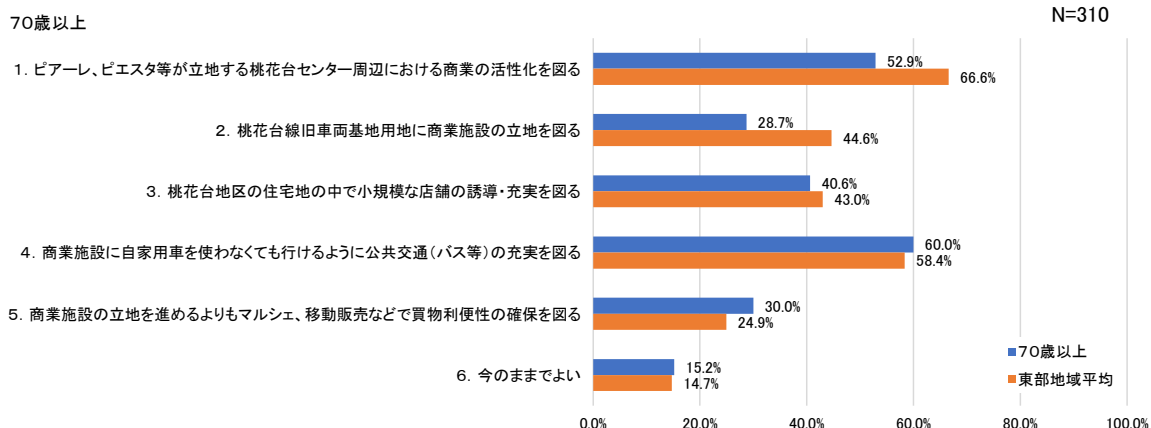
○50 歳代では、「ピアーレ、ピエスタ等が立地する桃花台センター周辺における商業の活性化を図る」、「桃花台線旧車両基地用地に商業施設の立地を図る」、「商業施設に自家用車を使わなくても行けるように公共交通(バス等)の充実を図る」等の回答割合が市平均と比較して高くなっている。



○60 歳代では、「ピアーレ、ピエスタ等が立地する桃花台センター周辺における商業の活性化を図る」、「桃花台線旧車両基地用地に商業施設の立地を図る」、「桃花台地区の住宅地の中で小規模な店舗の誘導・充実を図る」等の回答割合が市平均と比較して高くなっている。



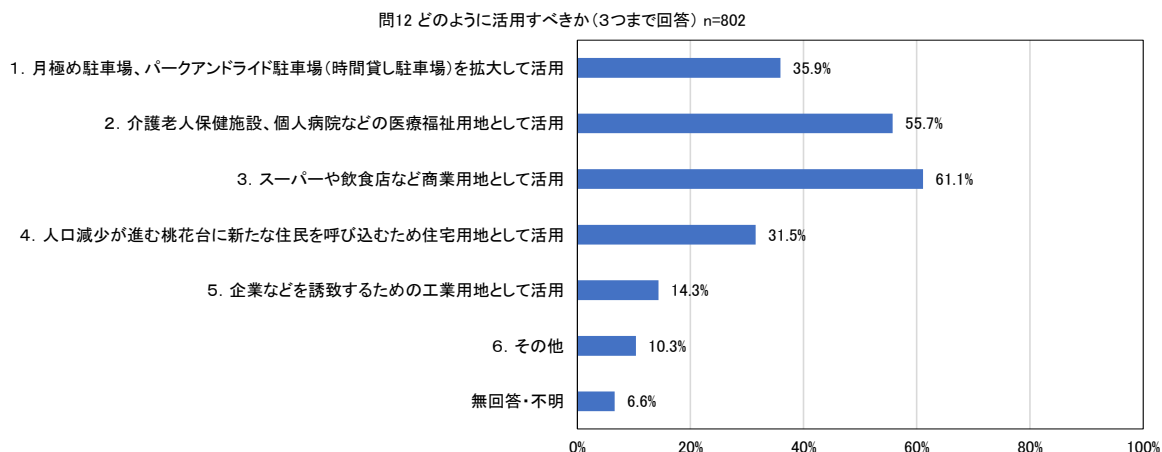
○70 歳以上では、「商業施設に自家用車を使わなくても行けるように公共交通(バス等)の充実を図る」、「商業施設の立地を進めるよりもマルシェ、移動販売などで買物利便性の確保を図る」、「今のままでよい」の回答割合が市平均と比較して高くなっている。



④ 桃花台線旧車両基地用地の利活用の方向性について

＜問 12 桃花台線旧車両基地用地の未利用地をどのように活用すべきか＞

○回答者の約 61%が、「スーパーや飲食店など商業用地として活用」すべきと考えており、次いで「介護老人保健施設、個人病院などの医療福祉用地として活用」、「月極め駐車場、パークアンドライド駐車場(時間貸し駐車場)を拡大して活用」となっている。



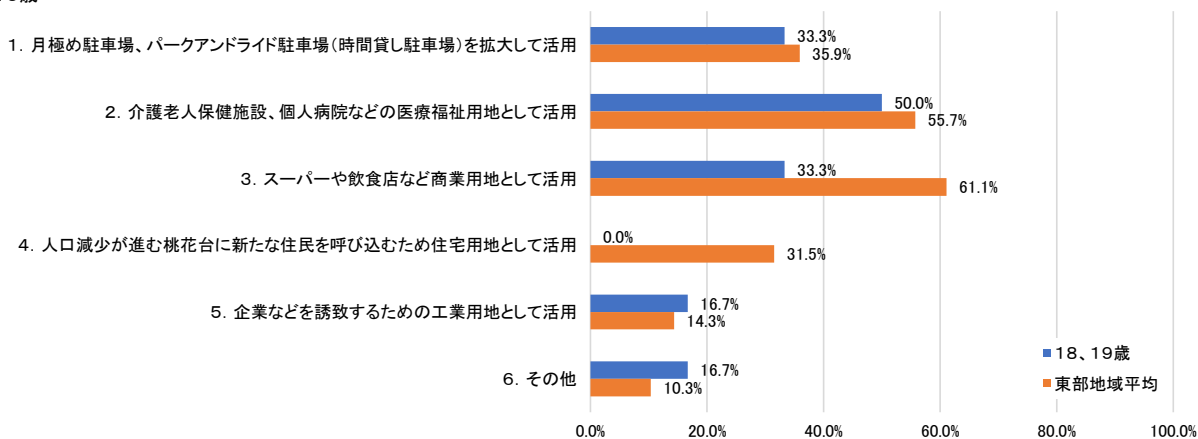
※1.この設問の回答方式は、回答者の考えに近い選択肢を3つまで選択する方式である

※構成比の母数は全回答者数である

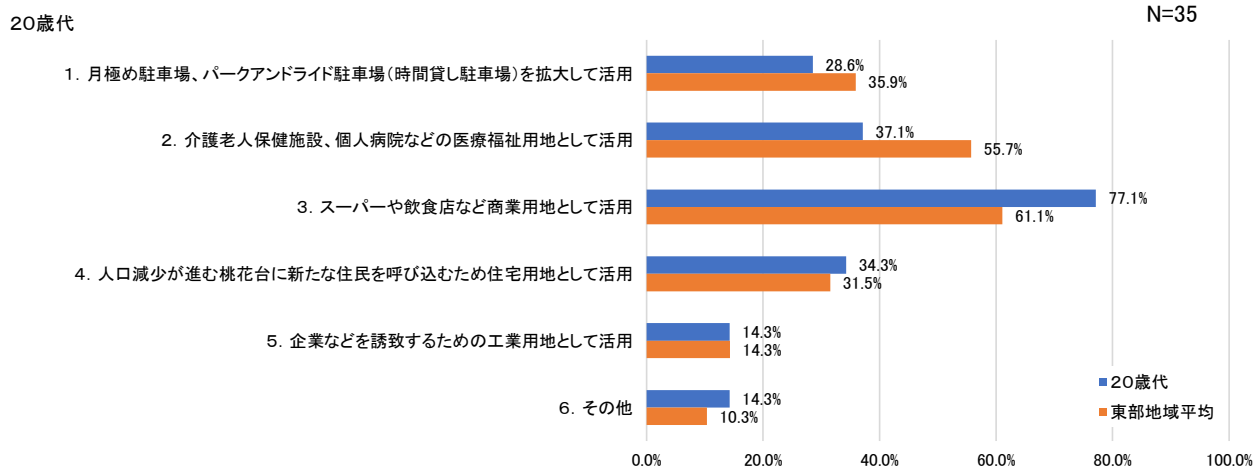
○18、19 歳では、「企業などを誘致するための工業用地として活用」の回答割合が市平均と比較して高くなっている。

18、19歳

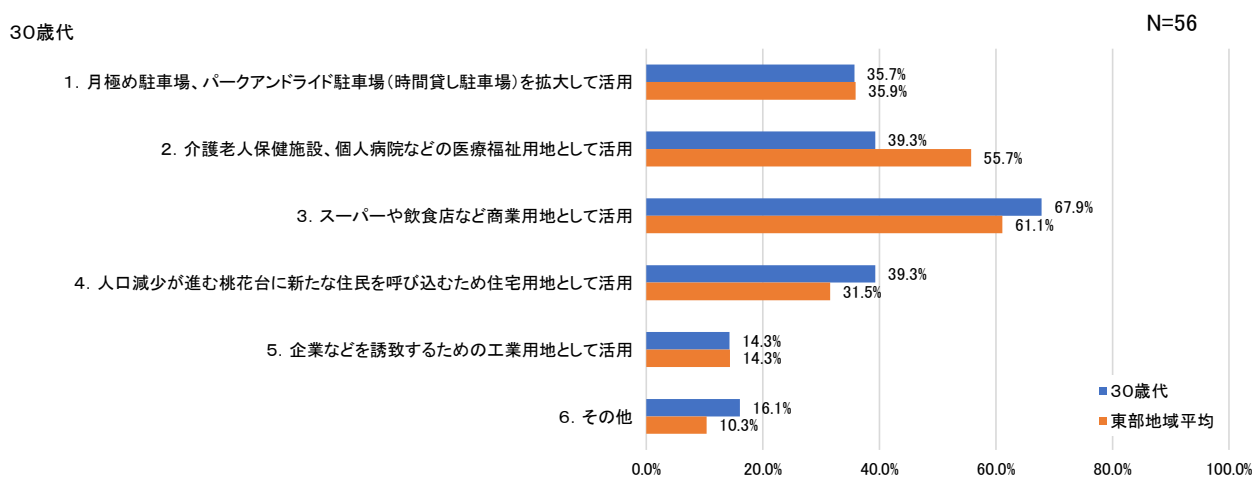
N=6



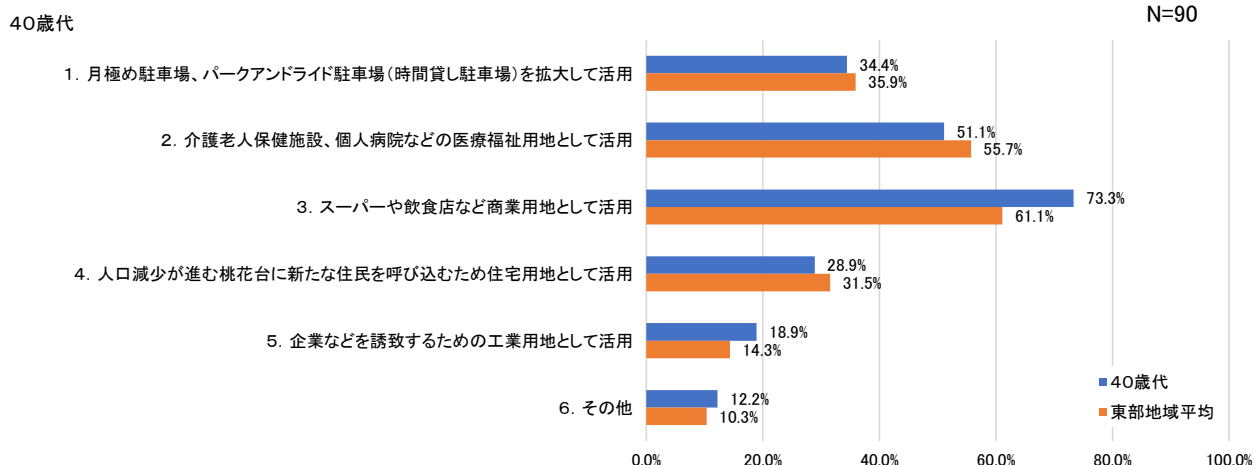
○20 歳代では、「スーパーや飲食店など商業用地として活用」、「人口減少が進む桃花台に新たな住民を呼び込むため住宅用地として活用」の回答割合が市平均と比較して高くなっている。



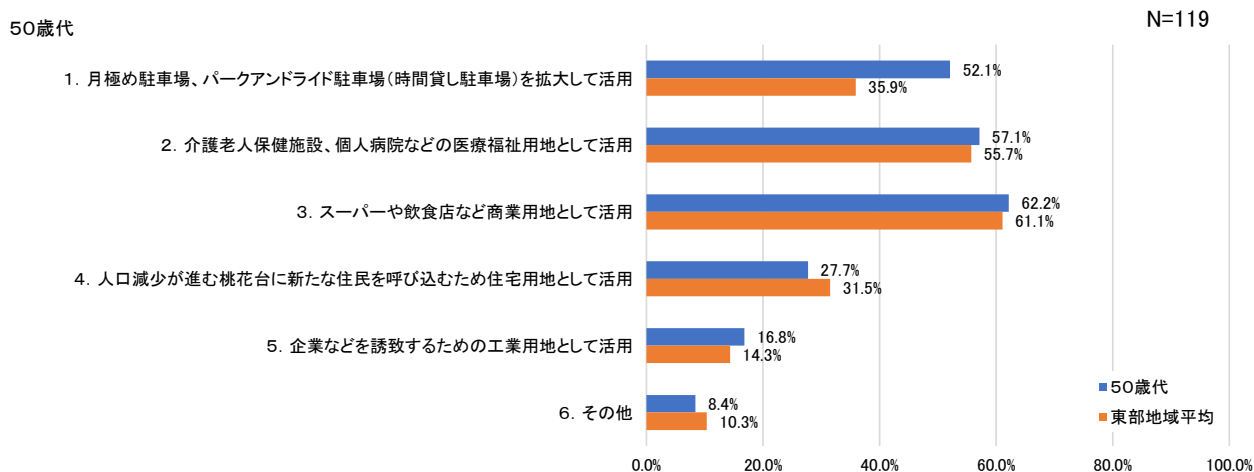
○30 歳代では、「スーパーや飲食店など商業用地として活用」、「人口減少が進む桃花台に新たな住民を呼び込むため住宅用地として活用」の回答割合が市平均と比較して高くなっている。



○40 歳代では、「スーパーや飲食店など商業用地として活用」、「企業などを誘致するための工業用地として活用」の回答割合が市平均と比較して高くなっている。



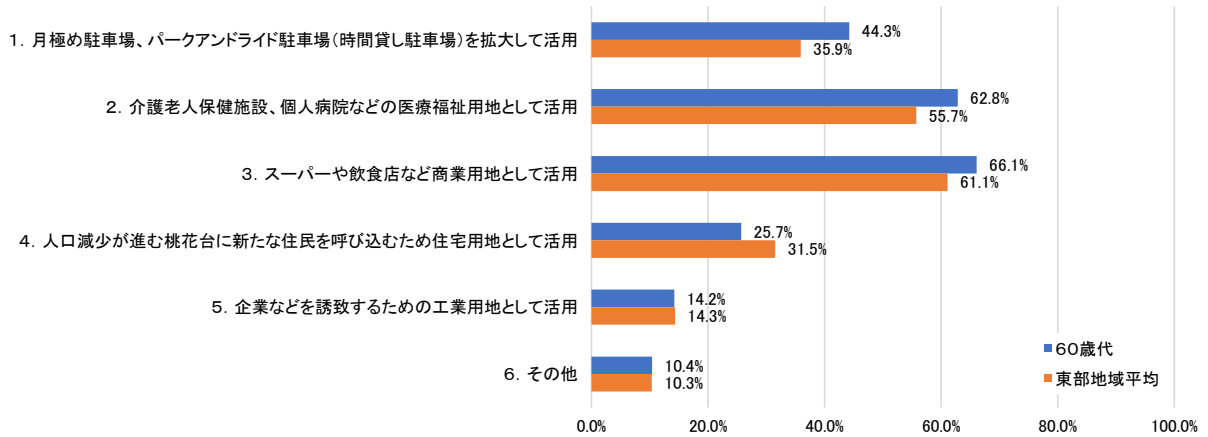
○50 歳代では、「月極め駐車場、パークアンドライド駐車場(時間貸し駐車場)を拡大して活用」、「介護老人保健施設、個人病院などの医療福祉用地として活用」、「企業などを誘致するための工業用地として活用」等の回答割合が市平均と比較して高くなっている。



○60歳代では、「月極め駐車場、パークアンドライド駐車場(時間貸し駐車場)を拡大して活用」、「介護老人保健施設、個人病院などの医療福祉用地として活用」、「スーパーや飲食店など商業用地として活用」の回答割合が市平均と比較して高くなっている。

60歳代

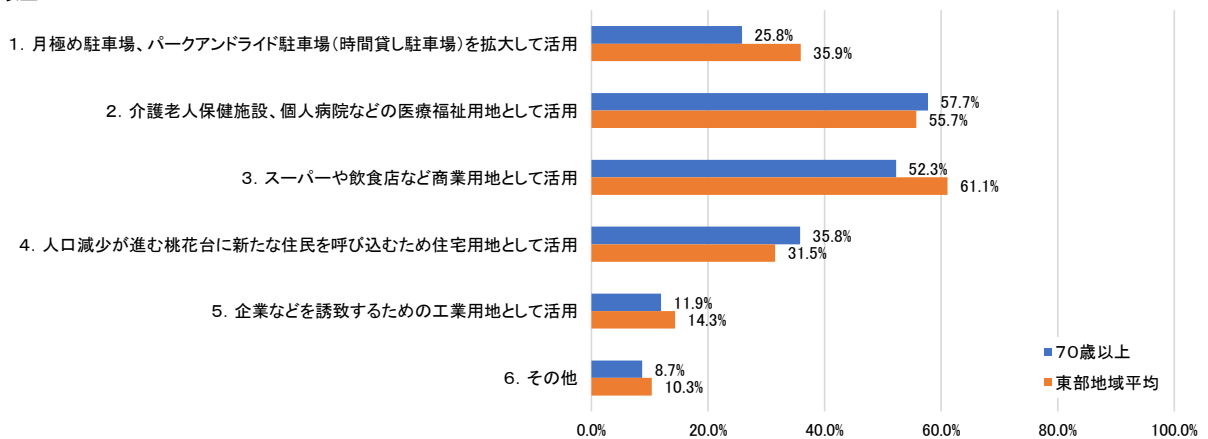
N=183



○70歳以上では、「介護老人保健施設、個人病院などの医療福祉用地として活用」、「人口減少が進む桃花台に新たな住民を呼び込むため住宅用地として活用」の回答割合が市平均と比較して高くなっている。

70歳以上

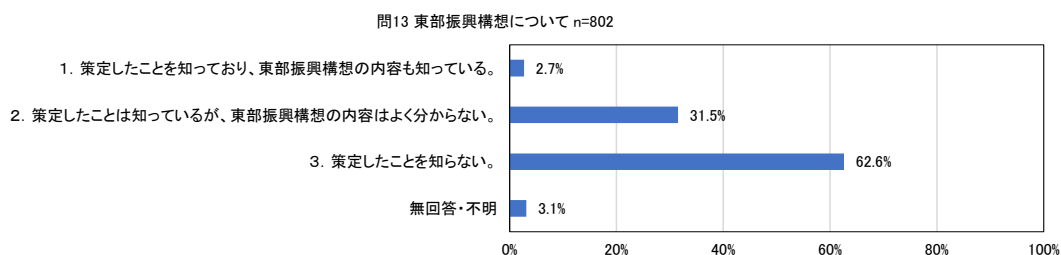
N=310



⑤東部振興構想について

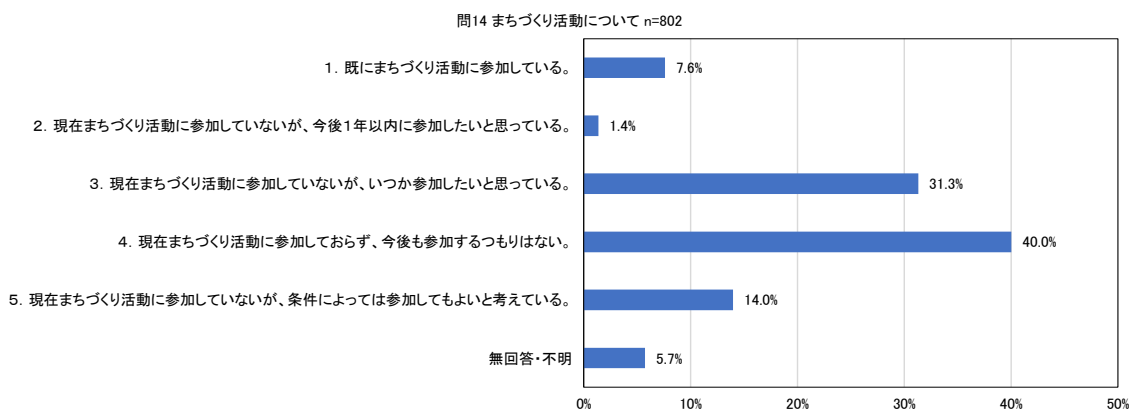
<問 13 東部振興構想が策定されたことを知っているか>

○東部振興構想について、「策定したことを知らない」が約 63%で最も高く、次いで「策定したことは知っているが、東部振興構想の内容はよく分からない」となっている。



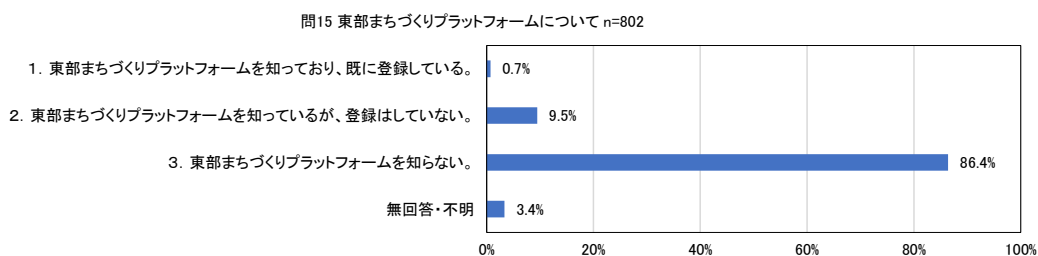
<問 14 東部地域でまちづくり活動を行っているか>

○東部地域でのまちづくり活動について、「現在まちづくり活動に参加しておらず、今後も参加するつもりはない。」が約 40%で最も高く、次いで「現在まちづくり活動に参加していないが、いつか参加したいと思っている。」となっている。



<問 15 東部まちづくりプラットフォームを立ち上げていることを知っているか>

○「東部まちづくりプラットフォームを知らない。」が約 86%で最も高く、次いで「東部まちづくりプラットフォームを知っているが、登録はしていない。」となっている。



⑥自由記述

＜自由記述のカテゴリー分類集計結果＞

○自由記述の内容で多いのは「交通網の充実」、「道路の整備」といった交通に関連したものとなっている。

	項目	件数
基盤施設の整備・維持管理	交通網の充実	81
	道路の整備（自動車道・渋滞対策等）	23
	公園・緑地、遊歩道等の整備・管理	16
	道路の整備（歩道・横断歩道・歩道橋・自転車道）	8
	駐車場の整備・充実	7
	公園・緑地等の設備について	5
	街路灯・信号	3
	道路の整備（標識・標示・設備等）	3
	ライフラインについて	1
	側溝・排水路の整備	1
	河川の整備	1

	項目	件数
景観・緑地保全	今ある自然の保護	10
	街路樹植栽等の管理	10
	農地の保全	3
	緑化による保全	2

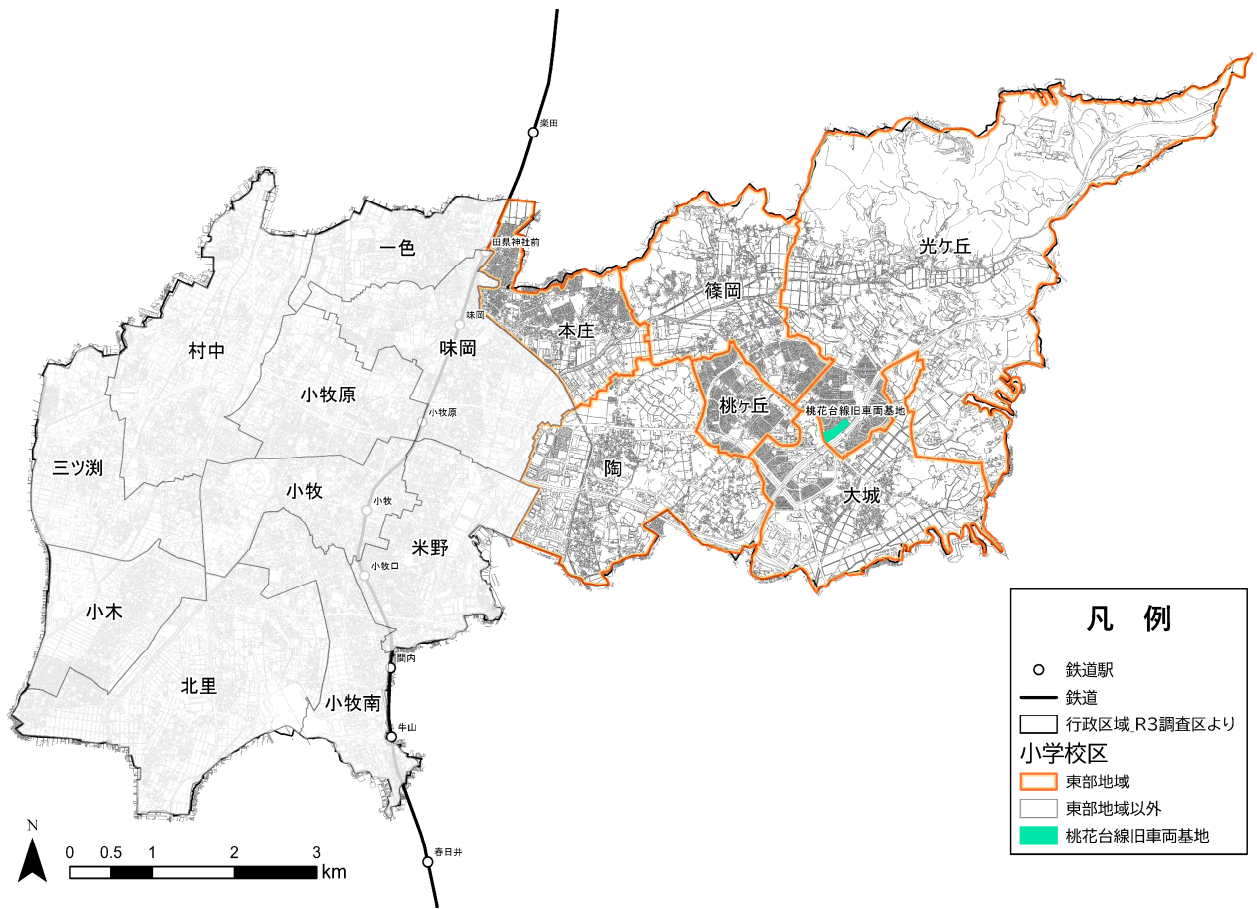
	項目	件数
公共施設・商業施設	身近な商店や飲食店の充実	46
	商業施設や娯楽施設・企業等の誘致	32
	医療・福祉・教育施設や子育て支援施設の充実	27
	プールについて	13
	公営団地の充実・活性化	5
	文化・運動施設の充実	1
	図書館・図書室について	1

	項目	件数
ソフト施策の実施・充実	イベント・祭り等の開催について	10
	空家・空店舗・空地・耕作放棄地等の活用・管理対策	10
	防犯対策や治安について	7
	観光・特産物等の創出やPR	5
	騒音対策	5
	交通安全や取締り強化	3
	市ホームページや広報、SNS等について	3
	開業支援や定着サポートについて	2
	ごみの出し方や分別	1
	働く女性へのサポート	1

	項目	件数
特定地域	こまき巡回バス「こまくる」について	19
	郊外部または東部の開発や活性化	17
	ピーチライナーについて	12
	ハイウェイオアシス、道の駅等について	7
	外国人の増加について	7
	桃花台地区周辺の再開発や活性化	3
	外国人へのマナー等の指導	2
	農業公園計画について	2
	ピーチバスについて	2
	駅周辺又は中心市街地の再開発または活性化	1
	駅設備の充実や活用について	1

	項目	件数
その他	その他	17
	キッチンカーや移動販売について	7
	アンケートについて	4
	現状に満足	3
	カラス対策・野良猫対策・害獣対策	1
	動物保護対策等	1

図- 東部地域 小学校区と桃花台線旧車両基地



小牧市都市計画マスタープラン改定に関わる

市 民 アン ケ ー ト 調 査

アンケート調査へのご協力をお願い

みなさまには、日頃より市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、本市では、令和2年2月に本市の目指すべき都市の姿を定めた小牧市都市計画マスタープランを策定し、まちづくりを進めております。その中で、居住については、市民のライフスタイルや居住の選択を尊重したうえで、安全・安心に暮らすことができる居住環境を形成し、都市機能については、地域特性に応じた機能を誘導・集積し続けることですべての世代にとって快適でコンパクトな都市構造のまちづくりを進めることとしています。

また、本市の東部地域においては、令和4年3月に「東部振興構想」を策定し、小牧市内の他地域にはない「豊かな自然」、「快適な住環境」、「多様な産業」を活かした持続的に発展し続けるまちづくりを推進しているところですが、人口減少や社会移動等による転出の傾向が顕著であり高齢化も急速に進行していることが課題となっています。

このような背景を踏まえ、今年度より2ヶ年をかけまして、東部地域の新たなまちづくりの方向性の検討を含めた小牧市都市計画マスタープランの改定に着手することとしました。

このアンケート調査は、東部地域の市民のみなさまからの率直なご意見を計画に反映するため実施するものです。

なお、この調査は、東部地域の18歳以上の方の中から、無作為に1,500人の方を抽出し、ご協力をお願いしております。ご回答いただいた内容は、計画の策定に必要な範囲で取り扱いさせていただきます。ご回答いただいた内容が、調査への回答によって個人が特定されることは一切ありません。

ご多忙のところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、よろしくごお願い申し上げます。

令和5年9月 小牧市

ご回答にあたってのお願い

- できる限り封筒の宛名のご本人様がお答えいただくようお願いいたします。
- 回答欄は太い枠線で囲まれた箇所となります。
- 回答にあたっては、特に記載のない場合は、該当する項目の番号に○印をお付けください。ただし、「その他」を選択された場合は、() 内に具体的にその内容をご記入ください。
- 回答されたアンケート用紙は9月20日(水)までに同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、郵便ポストに投函してください。
- このアンケートについてのご質問などがありましたら、下記までお問い合わせください。

小牧市 都市政策部 都市計画課 都市計画係
TEL (0568) 76-1155(直通) FAX (0568) 71-1481
E-mail toshi@city.komaki.lg.jp

ここからは、あなたがお住まいの地区（小学校区程度の範囲）の買い物についておたずねします。

問4 あなたがお住まいの地区での買い物状況について、現状にどの程度『満足』していますか。また、今後の程度『重要』だと思いますか。次の「満足度」、「重要度」について、あなたのお考えに最も近い番号を1つずつ選び、番号に○をつけてください。

満足度・重要度に関する質問項目	満足度				重要度			
	満足	まあ満足	やや不満	不満	重要	まあ重要	あまり重要でない	重要でない
記入例) ○○○○となっている	①	2	3	4	1	②	3	4
ア. 主要道路沿道に店舗が適切に配置され、買物がしやすい	1	2	3	4	1	2	3	4
イ. バス等で行きやすい場所に店舗が集まっており、買物しやすい	1	2	3	4	1	2	3	4
ウ. 飲食店などがたくさんあり、賑わいがある	1	2	3	4	1	2	3	4
エ. 大規模な店舗が充実し、買い物が楽しめる	1	2	3	4	1	2	3	4
オ. 居住地周辺に日常生活に必要な店舗があり、閑静な住宅環境が守られている	1	2	3	4	1	2	3	4

問5 あなたがお住まいの地区で生活していくうえで、地区内に特に必要だと思う施設や機能は何ですか？必要だと思う順に3つ選んで番号を記入してください。

1. 大規模な複合商業施設（デパートなど）
2. スーパー
3. コンビニ
4. 上記以外の小売店舗（食料品以外を売っている商店等）
5. 飲食店
6. 金融施設（銀行、信用金庫、郵便局）
7. 医療施設（病院、診療所）
8. 福祉施設（介護施設、デイサービス施設）
9. 教育施設（小学校、中学校）
10. 公園、広場
11. その他（ ）

必要だと思う施設	
※選択肢の番号を記入してください	
第1位	
第2位	
第3位	

問6 日用品の買い物状況について教えてください。

※日用品…生鮮食料品・日用家庭用品（スーパー、薬局など）

■よく行くところを3つまで書き出し、それぞれ該当する番号を選び、○をつけてください。
（必ず3つまで書き出す必要はありません。普段よく行く施設のみをお書きください。）

施設（店舗）名		場所	概ねの頻度	主な移動手段 ※複数回答可
（記入例）	●●ドラッグ春日井店 ※できるだけ具体的にお書きください	1. 市内 <input checked="" type="radio"/> 2. 市外 （春日井市） <small>※市外を選択した場合は、かつこ内に市町村名をお書きください</small>	1. ほぼ毎日 2. 週に2～3回 <input checked="" type="radio"/> 3. 月に2～3回	1. 徒歩のみ <input checked="" type="radio"/> 2. 自転車 3. 自動二輪車 4. 自家用車 <input checked="" type="radio"/> 5. 鉄道 6. バス 7. タクシー
		1. 市内 2. 市外 （ ）	1. ほぼ毎日 2. 週に2～3回 3. 月に2～3回	1. 徒歩のみ 2. 自転車 3. 自動二輪車 4. 自家用車 5. 鉄道 6. バス 7. タクシー
		1. 市内 2. 市外 （ ）	1. ほぼ毎日 2. 週に2～3回 3. 月に2～3回	1. 徒歩のみ 2. 自転車 3. 自動二輪車 4. 自家用車 5. 鉄道 6. バス 7. タクシー
		1. 市内 2. 市外 （ ）	1. ほぼ毎日 2. 週に2～3回 3. 月に2～3回	1. 徒歩のみ 2. 自転車 3. 自動二輪車 4. 自家用車 5. 鉄道 6. バス 7. タクシー
<p>■食料品・日用品の買い物について、日常的にインターネットなどの通販を利用している場合は、かつこ内に○をつけてください。⇒（ ）</p>				

問7 日用品以外の買い物状況について教えてください。

※日用品以外…衣料品、靴、鞆、家電製品、家具・インテリア、時計、眼鏡、贈答品等（ショッピングセンターなど）

■よく行くところを3つまで書き出し、それぞれ該当する番号を選び、○をつけてください。
（必ず3つまで書き出す必要はありません。普段よく行く施設のみをお書きください。）

施設（店舗）名	場所	概ねの頻度	主な移動手段 ※複数回答可
（記入例） ▲▲モール扶桑 ※できるだけ具体的に お書きください	1. 市内 2. 市外 （扶桑町） ※市外を選択した場合は、かっこ内に市町村 名をお書きください	1. ほぼ毎日 2. 週に2～3回 3. 月に2～3回	1. 徒歩のみ 2. 自転車 3. 自動二輪車 4. 自家用車 5. 鉄道 6. バス 7. タクシー
	1. 市内 2. 市外 （ ）	1. ほぼ毎日 2. 週に2～3回 3. 月に2～3回	1. 徒歩のみ 2. 自転車 3. 自動二輪車 4. 自家用車 5. 鉄道 6. バス 7. タクシー
	1. 市内 2. 市外 （ ）	1. ほぼ毎日 2. 週に2～3回 3. 月に2～3回	1. 徒歩のみ 2. 自転車 3. 自動二輪車 4. 自家用車 5. 鉄道 6. バス 7. タクシー
	1. 市内 2. 市外 （ ）	1. ほぼ毎日 2. 週に2～3回 3. 月に2～3回	1. 徒歩のみ 2. 自転車 3. 自動二輪車 4. 自家用車 5. 鉄道 6. バス 7. タクシー
■服や雑貨、家電等の買い物について、日常的にインターネットなどの通販を利用している場合は、かっこ内に○をつけてください。⇒（ ）			

問8 買い物目的以外で普段よく(月に2~3回以上)行くところを市内外問わず教えてください。
問6、問7で回答した施設(店舗)と重複しても構いません。ただし、通勤先や通学先は除きます。

■よく行く施設名を3つまで書き出し、それぞれ該当する番号を選び、○をつけてください。
(必ず3つまで書き出す必要はありません。普段よく行く施設のみをお書きください。)

施設(店舗)名		場所	目的	概ねの頻度	主な移動手段 <small>※複数回答可</small>
(記入例)	●●● 医院 <small>※できるだけ具体的に お書きください</small>	1. 市内 2. 市外 ()	1. 飲食 2. 娯楽 3. 通院 (以下、略)	1. ほぼ毎日 2. 週に2~3回 3. 月に2~3回	1. 徒歩のみ 2. 自転車 3. 自動二輪車 4. 自家用車 5. 鉄道 6. バス 7. タクシー
		1. 市内 2. 市外 ()	1. 飲食 2. 娯楽 3. 通院 4. 運動 5. 習い事 6. その他 ()	1. ほぼ毎日 2. 週に2~3回 3. 月に2~3回	1. 徒歩のみ 2. 自転車 3. 自動二輪車 4. 自家用車 5. 鉄道 6. バス 7. タクシー
		1. 市内 2. 市外 ()	1. 飲食 2. 娯楽 3. 通院 4. 運動 5. 習い事 6. その他 ()	1. ほぼ毎日 2. 週に2~3回 3. 月に2~3回	1. 徒歩のみ 2. 自転車 3. 自動二輪車 4. 自家用車 5. 鉄道 6. バス 7. タクシー
		1. 市内 2. 市外 ()	1. 飲食 2. 娯楽 3. 通院 4. 運動 5. 習い事 6. その他 ()	1. ほぼ毎日 2. 週に2~3回 3. 月に2~3回	1. 徒歩のみ 2. 自転車 3. 自動二輪車 4. 自家用車 5. 鉄道 6. バス 7. タクシー
		1. 市内 2. 市外 ()	1. 飲食 2. 娯楽 3. 通院 4. 運動 5. 習い事 6. その他 ()	1. ほぼ毎日 2. 週に2~3回 3. 月に2~3回	1. 徒歩のみ 2. 自転車 3. 自動二輪車 4. 自家用車 5. 鉄道 6. バス 7. タクシー

問9 日用品及びそれ以外のそれぞれの買い物状況に対する満足度について、どのように感じていますか。それぞれ1つ選んで○をつけてください。

日用品の買い物に関する満足度について	交通手段の利便性に関する満足度		1. 満足 2. まあ満足 3. やや不満 4. 不満
	施設の立地に関する満足度	自宅との近さ	1. 満足 2. まあ満足 3. やや不満 4. 不満 5. 自宅との近さは満足度に関係ない
		最寄バス停との近さ	1. 満足 2. まあ満足 3. やや不満 4. 不満 5. 最寄バス停との近さは満足度に関係ない
		通勤・通学等の際の立ち寄りやすさ	1. 満足 2. まあ満足 3. やや不満 4. 不満 5. 立ち寄りやすさは満足度に関係ない
日用品以外の買い物に関する満足度について	交通手段の利便性に関する満足度		1. 満足 2. まあ満足 3. やや不満 4. 不満
	施設の立地に関する満足度	自宅との近さ	1. 満足 2. まあ満足 3. やや不満 4. 不満 5. 自宅との近さは満足度に関係ない
		最寄バス停との近さ	1. 満足 2. まあ満足 3. やや不満 4. 不満 5. 最寄バス停との近さは満足度に関係ない
		通勤・通学等の際の立ち寄りやすさ	1. 満足 2. まあ満足 3. やや不満 4. 不満 5. 立ち寄りやすさは満足度に関係ない

ここでは、東部地域の商業について、今後のまちづくりの方向性をおたずねします。

問 1 0 これからの商業地について、どのように誘導・整備していくべきだとお考えですか？次の中から必要だと思う順に3つ選んで番号を記入してください。

1. 交通量が多い主要道路の沿道に商業施設が立地していたほうがよい
2. 桃花台センター周辺など拠点となるエリアに商業施設がまとまっていたほうがよい
3. 新たに商業地を創出したほうがよい
4. 各地区の居住地の周辺にコンビニや喫茶店など小規模な店舗があったほうがよい
5. 日用品等の買い物は市外で済ませるため、新たな誘導・整備は必要ない
6. 今のままでよい

必要だと思うこと	
※選択肢の番号を記入してください	
第1位	<input type="text"/>
第2位	<input type="text"/>
第3位	<input type="text"/>

問 1 1 これからの商業の活性化について、今後どのようなまちづくりを行っていくべきだと思いますか？次の中から必要だと思う順に3つ選んで番号を記入してください。

1. ビアーレ、ピエスタ等が立地する桃花台センター周辺における商業の活性化を図る
2. 桃花台線旧車両基地用地に商業施設の立地を図る
3. 桃花台地区の住宅地の中で小規模な店舗の誘導・充実を図る
4. 商業施設に自家用車を使わなくても行けるように公共交通（バス等）の充実を図る
5. 商業施設の立地を進めるよりもマルシェ、移動販売などで買物利便性の確保を図る
6. 今のままでよい

必要だと思うこと	
※選択肢の番号を記入してください	
第1位	<input type="text"/>
第2位	<input type="text"/>
第3位	<input type="text"/>

ここでは、桃花台線旧車両基地用地の利活用の方向性についておたずねします。

問 1 2 現在、桃花台線旧車両基地用地（光ヶ丘六丁目 43 番地）の一部で月極駐車場、パークアンドライド駐車場（時間貸し駐車場）及び中央道高速バスの送迎用ロータリーとして活用していますが、その他の未利用地をどのように活用すべきかを検討しています。あなたはどのような活用をするべきだと思いますか。次の中から行っていきべきと思う番号を3つまで選び、番号に○をつけてください。

1. 月極め駐車場、パークアンドライド駐車場（時間貸し駐車場）を拡大して活用
2. 介護老人保健施設、個人病院などの医療福祉用地として活用
3. スーパーや飲食店など商業用地として活用
4. 人口減少が進む桃花台に新たな住民を呼び込むため住宅用地として活用
5. 企業などを誘致するための工業用地として活用
6. その他（ ）

ここでは、東部振興構想についておたずねします。

問 1 3 小牧市では、令和 4 年 3 月に、東部地域のまちづくりの指針となる「東部振興構想」を策定しました。現在、東部振興構想の周知を図っていますが、あなたは、東部振興構想が策定されたことをご存じですか。次の中から該当する番号に○をつけてください。

1. 策定したことを知っており、東部振興構想の内容も知っている。
2. 策定したことは知っているが、東部振興構想の内容はよく分からない。
3. 策定したことを知らない。

問 1 4 東部振興構想では、「人がつながり、支え合い、チャレンジし続けるまち」を将来像として掲げ、地域住民をはじめ、事業者、各種団体、行政などが連携・協力するまちづくりを目指し、取組を推進していますが、あなたは東部地域でまちづくり活動を行っていますか。次の中から該当する番号に○をつけてください。

※まちづくり活動とは、自治会活動への参加、市民活動団体等での活動を指します。

1. 既にまちづくり活動に参加している。
2. 現在まちづくり活動に参加していないが、今後 1 年以内に参加したいと思っている。
3. 現在まちづくり活動に参加していないが、いつか参加したいと思っている。
4. 現在まちづくり活動に参加しておらず、今後も参加するつもりはない。
5. 現在まちづくり活動に参加していないが、条件によっては参加してもよいと考えている。(具体的に：)

問 1 5 現在、小牧市では、地域住民をはじめ、事業者、各種団体、行政などが、つながる場、情報共有する場として登録制の「東部まちづくりプラットフォーム」を立ち上げていることを知っていますか。次の中から該当する番号に○をつけてください。

1. 東部まちづくりプラットフォームを知っており、既に登録している。
2. 東部まちづくりプラットフォームを知っているが、登録はしていない。
3. 東部まちづくりプラットフォームを知らない。

※東部まちづくりプラットフォームの詳細については、
こちらで検索ください。

※東部まちづくりプラットフォームへ登録されていない方は
ぜひ登録をお願いします。



(ホームページ)



(登録フォーム)

これで全ての質問は終わりです。最後に、東部地域のまちづくりに関して、ご意見などございましたら、ご自由にお書きください。



ご協力ありがとうございました。